

平成30年度 事務事業整理シート

基本計画			
章	節	項	細
実施計画事業名			
3	01	01	01
道路改良事業			

予算科目			
款	項	目	事
事業名			
7	01	03	01
道路改良事業			

実施計画整理番号	
301010101	
総合戦略整理番号	0

P L A N (計 画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	道路利用者が安心・安全に通行できるよう、道路整備を行う。	道路事業用地の取得及び支障物件の移転補償、道路改良工事の設計、工事、施工管理を実施する。
	平成30年度の具体的な目標	平成30年度スケジュール
	<p>圏央道アクセス・・・継続して交渉を行い、用地の取得を目指す。また用地取得済み箇所のうち影響のない場所から工事発注を行う。</p> <p>幹線道路の整備・・・1級12号線の工事を発注し、通行者の安全確保に努める。</p> <p>生活道路の整備・・・3級8014号線ほか計画路線の工事発注を行い、安全性、利便性の向上を図る。</p>	<p>圏央道アクセス・・・用地交渉は第二四半期までに契約を予定。買収に関係のない箇所の改良工事は、上半期に発注する。</p> <p>幹線道路の整備・・・第一四半期に1級12号線の工事を実施する。</p> <p>生活道路の整備・・・3級8014号線ほかの工事を第二四半期までに発注を行う。</p>

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	174,542	173,572	122,460	166,600	174,510	107,203	99,752	0	0	54,350	0	0	
財源内訳	国補助	千円	82,500	82,500	50,875	77,000	62,660	45,166	32,444	0	0	2,500	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	82,800	82,800	59,000	80,600	101,300	52,100	60,000	0	0	45,700	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	9,242	8,272	12,585	9,000	10,550	9,937	7,308	0	0	6,150	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	圏央道アクセス道路の整備	140,000	115,914	82,315	1-15についてはR1年度末完成予定。 1-16は契約線越した。引続き事業を進める。
②	幹線道路(市道1級、2級)の整備	17,700	15,648	7,634	2-20については予定していた事業は完了した。 1-12については繰越明許した。 引続き事業を進める。
③	生活道路(市道3級)の整備	8,900	42,948	17,254	3-6047他2路線については予定していた事業は完了した。 3-5036他1路線については繰越明許した。 引続き事業を進める。
④	生活道路(法定外等)の整備	0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		166,600	174,510	107,203	

平成30年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

- ・1-15、1-16の工事を実施した。工事延長L=514.8m
- ・3-6047他3路線の工事を実施した。工事延長L=304.6m

D
O
(
実
施
)

平成30年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	301010101
3	01	01	01	道路改良事業	7	01	03	01	道路改良事業	

CHECK (評価)	30年度活動指標(アウトプット)の達成状況				30年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	市道1級15号線他5路線において道路改良工事を実施した。 市道3級5036号線他1路線において不動産鑑定評価及び物件調査を実施した。				51箇所／163箇所＝31.29%			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由			
	A:妥当である 茂原市が関与すべき事業であり、道路利用者が安全・安心に利用出来るような整備をした。また、市民からの要望も多い。		A:有効である 用地買収は、概ねの了承を得られ、また、幹線道路及び生活道路は、安心・安全に通行出来る道路整備が行えた。		B:やや効率的である		一部の路線で暫定形での整備を行ない、コスト削減に努力している。地元調整及び用地交渉に多大な時間を費やしてしまう。	
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由			
	B:実現に向けて取り組んでいる 地元自治会回覧を行っている。また必要な個所においては地元説明会を実施している。		B:実現に向けて取り組んでいる 地元自治会の意見収集。		B:実現に向けて取り組んでいる		用地買収について、自治会に関係地権者への協力依頼を行っている。また自治会回覧で住民への周知について協力依頼を行っている。	
	所管による評価とその理由、課題・問題点							
	B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割～7割)		圏央道アクセス道路の1級15号線の工事は順調に進んだ。1級16号線については、難航地権者との交渉に時間を要し、工事を繰越した。引き続き完成に向けて事業を進める。幹線道路、生活道路の整備は、3級5036号線他6路線の事業を進めていたが、用地交渉に不測の日数を要し、3路線について繰越した。複数の路線を継続実施しているが、住民要望は増加しており要望に対する進捗率が図れない状況であり、事業費増による対策が必要である。					
	企画政策課での評価とその理由							
	B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割～7割)		工事の実施により、道路利用者の安心安全な通行に成果があったと認められる。引き続き、地元調整・用地交渉に取り組むことにより事業の着実な進捗を目指すとともに、住民要望に対し、丁寧な説明に努めるものとする。					
政策調整会議での評価とその理由								
庁議における方針								

ACT (改善)	令和元年度活動指標(アウトプット)の設定				令和元年度成果指標(アウトカム)の設定			
	道路改良箇所数				整備率(着手箇所／要望箇所)			
	令和元年度における具体的な目標 圏央道アクセス …整備を進め早期執行、早期完成に努める。 幹線道路、生活道路の整備 …繰越した1級12号線他2路線の委託及び工事を発注し、早期執行に努める。また安全性、利便性の向上を図る。				令和元年度における事務事業スケジュール 圏央道アクセス …委託及び工事を上半期に発注する。 幹線道路、生活道路の整備 …用地買収や測量の影響を受けない個所については上半期に発注する。またその他の箇所についてもできるだけ早期に発注し繰越しをしない。			

平成30年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	01	01	01	道路舗装新設事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	01	03	02	道路舗装新設事業

実施計画整理番号	
301010102	
総合戦略整理番号	0

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	道路利用者が安心・安全に通行できるように道路整備を行う。	未舗装道路の舗装工事の実施
	平成30年度の具体的な目標	平成30年度スケジュール
	予定している3路線について、早期発注を目指す。	予定している3路線について、上半期中の工事発注を行う。

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	6,036	7,976	7,976	6,036	9,872	6,070	1,650	0	0	1,650	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	6,036	7,976	7,976	6,036	9,872	6,070	1,650	0	0	1,650	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	生活道路の舗装新設	4,100	9,872	6,070	法定外道路小轡地先他2路線の工事が完了した。法定外道路粟生野地先の工事費については繰越明許した。市内各所の要望について継続して整備を行う。
②	私道の舗装新設	1,936	0	0	
③		0	0	0	
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		6,036	9,872	6,070	

平成30年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
<ul style="list-style-type: none"> ・法定外道路粟生野地先において境界測量を実施した。 ・法定外道路小轡地先他2路線の工事を実施した。工事延長L=191.6m

DO (実施)

平成30年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目				整理番号	
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	301010102
3	01	01	01	道路舗装新設事業	7	01	03	02	道路舗装新設事業	

CHECK (評価)	30年度活動指標(アウトプット)の達成状況				30年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	道路舗装整備延長 191.6mを施工した。				整備率 46,672m/71,362m 65.40%			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由			
	A:妥当である	茂原市が関与すべき事業であり、道路利用者が安全・安心に利用できるような整備を行っている。また、市民からの要望も多い。	A:有効である	生活道路における未整備路線を安心・安全に利用できるような整備が図られた。	B:やや効率的である	事業箇所の選択・集中を行い、コスト削減を図る必要がある。		
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由			
	B:実現に向けて取り組んでいる	自治会回覧を行っている。	B:実現に向けて取り組んでいる	地元自治会や関係者の意見(要望)に応えている。	B:実現に向けて取り組んでいる	自治会長や関係者と協議を行っている。		
	所管による評価とその理由、課題・問題点							
	B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	当初及び補正予算の予定路線の整備が概ね図れた。(1路線の工事を繰越明許した。)複数路線を継続して実施しているが、住民要望は増加しており、要望に対して進捗が図れない状況であり、事業費の増による対策が必要である。						
企画政策課での評価とその理由								
B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	おおむね予定していた工事を実施しており、一定の成果があったものと認められる。引き続き、道路利用者の安心安全な通行のため、計画的な整備に努めるものとする。							
政策調整会議での評価とその理由								
庁議における方針								

ACT (改善)	令和元年度活動指標(アウトプット)の設定				令和元年度成果指標(アウトカム)の設定			
	道路舗装延長				整備率			
令和元年度における具体的な目標				令和元年度における事務事業スケジュール				
予定している3路線について、早期発注を目指す。				予定している3路線について、上半期中の工事発注を行う。				

平成30年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	01	01	01	道路橋梁維持補修費

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	01	02	02	道路橋梁維持補修費

実施計画整理番号	
301010103	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか) 生活環境の保全及び交通の円滑化と事故防止のため、道路補修を実施する。	活動内容(目的を達成するために何を行うか) 道路舗装の点検を行い、それを基に修繕計画を作成し計画的に修繕を実施する。
平成30年度の具体的な目標 国の補助金を活用し、道路舗装修繕を行う。	平成30年度スケジュール 路面性状調査の結果を基に、早急に修繕が必要区間を優先的に補修し、安心・安全な通行を保つ。

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	198,911	214,107	134,842	224,000	138,061	136,947	116,520	0	0	106,956	0	0	
財源内訳	国補助	千円	97,042	97,042	19,496	113,300	16,892	16,417	31,090	0	0	28,894	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	71,400	71,400	72,300	83,400	77,200	74,700	59,800	0	0	58,200	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	30,469	45,665	43,046	27,300	43,969	45,830	25,630	0	0	19,862	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	点検業務	16,000	13,910	13,910	トンネル点検及び路面調査を実施。今後も定期的に点検を実施していく。
②	道路長寿命化修繕計画業務	10,000	6,480	6,480	道路附属施設修繕計画策定を実施。今後も点検結果に基づき計画の見直しなどを図っていく。
③	道路附属物・のり面設計業務	0	0	0	
④	道路附属物・のり面補修工事	0	0	0	
⑤	幹線道路(市道1・2級)の舗装補修工事	180,000	82,250	81,780	国からの補助金が削減され、施工範囲が縮小された。引続き、道路の舗装補修を実施していく。
⑥	生活道路(市道3級・法定外)の舗装・維持補修工事	10,000	18,513	18,463	当該年度の補修予定箇所は概ね執行済み。引続き、道路の舗装・維持補修工事を実施していく。
⑦	道路補修用資機材の調達・保守	8,000	13,365	12,774	当該年度の機材等は概ね調達出来た。継続的に補修用資機材を調達し、道路の維持補修を実施していく。
⑧	舗装たわみ量調査業務委託	0	3,543	3,540	舗装たわみ量調査(L=4.3km)を実施。今後も舗装修繕工事に伴い実施していく。
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		224,000	138,061	136,947	

平成30年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

- ・道路舗装補修工事 8箇所
- ・道路維持補修工事15箇所
- ・常温合材・加熱アスファルト・U字溝等購入

PLAN(計画)

DO(実施)

平成30年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	301010103
3	01	01	01	道路橋梁維持補修費	7	01	02	02	道路橋梁維持補修費	

CHECK (評価)	30年度活動指標(アウトプット)の達成状況				30年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	道路舗装補修工事 8箇所 道路維持補修工事 15箇所				交通の円滑化と事故防止が図られた箇所数(舗装補修8箇所、維持補修15箇所)			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由			
	A:妥当である	市が管理する道路であり、市が舗装修繕する必要がある。	A:有効である	道路舗装補修を実施することで交通の円滑化と事故防止が図られた。	B:やや効率的である	道路舗装補修が一部にとどまっている為。		
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由			
	C:実現の余地がない	道路の維持補修工事であり、取り組む余地がない。	C:実現の余地がない	道路の維持補修工事であり、取り組む余地がない。	C:実現の余地がない	道路の維持補修工事であり、取り組む余地がない。		
	所管による評価とその理由、課題・問題点							
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	当該年度の執行は概ね予定通りであったが、道路舗装の補修をすべき箇所が多数残っている。						
	企画政策課での評価とその理由							
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	当初の計画通りに事業が行われていることから、一定の成果を挙げたものと認められる。引き続き、維持補修が必要な箇所については、計画的に事業を実施するものとする。						
政策調整会議での評価とその理由								
庁議における方針								

ACT (改善)	令和元年度活動指標(アウトプット)の設定				令和元年度成果指標(アウトカム)の設定			
	道路舗装補修箇所数 8箇所 道路維持補修箇所数 6箇所				交通の円滑化と事故防止が図られた箇所数(修繕が完了した箇所数)			
令和元年度における具体的な目標				令和元年度における事務事業スケジュール				
起債事業を活用し、道路舗装修繕を行う。				路面性状調査の結果を基に、早急な修繕が必要な区間を優先的に補修し、安心・安全な通行を保つ。				

平成30年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	01	01	01	橋梁長寿命化修繕事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	01	02	02	橋梁長寿命化修繕事業

実施計画整理番号	
301010104	
総合戦略整理番号	0

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	市管理の橋梁について、計画的な予防保全的維持管理に転換を図り、長寿命化によるコスト縮減と併せて地域の道路網の安全性と信頼性を向上させる。	「橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、順次橋梁の修繕を実施し、定期的に橋梁点検を行う。
	平成30年度の具体的な目標	平成30年度スケジュール
	国の補助金を活用し橋梁の点検・補修設計・修繕工事を行う。	「橋梁長寿命化修繕計画」に基づいた事業遂行を図る。

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	164,993	147,580	147,507	197,550	189,806	164,008	95,781	0	0	15,000	0	0	
財源内訳	国補助	千円	90,745	81,168	81,114	108,652	95,172	86,310	52,679	0	0	8,250	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	59,000	52,900	52,000	80,000	74,800	53,400	31,000	0	0	6,000	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	15,248	13,512	14,393	8,898	19,834	24,298	12,102	0	0	750	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	点検業務	20,250	23,970	23,970	61橋の点検を実施。継続的に橋梁点検を実施していく。
②	橋梁長寿命化修繕計画策定業務	0	7,668	7,668	橋梁修繕計画策定を実施。今後も点検結果に基づき修繕計画の見直しなどを図っていく。
③	修繕・耐震工事の設計業務	18,000	9,180	9,180	2橋の橋梁補修設計を実施。引続き、修繕計画に基づき設計業務を実施していく。
④	長寿命化修繕及び耐震工事	159,300	148,669	122,871	4橋の橋梁修繕を実施。引続き、修繕計画に基づき橋梁の修繕を実施していく。
⑤	調査業務	0	319	319	修繕工事に伴う調査業務を実施。
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		197,550	189,806	164,008	

平成30年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

- ・橋梁点検業務委託61橋
- ・橋梁補修設計業務委託2橋
- ・橋梁修繕工事4橋

DO (実施)

平成30年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	301010104
3	01	01	01	橋梁長寿命化修繕事業	7	01	02	02	橋梁長寿命化修繕事業	

CHECK (評価)	30年度活動指標(アウトプット)の達成状況				30年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	橋梁点検61橋 橋梁補修設計2橋 橋梁修繕工事4橋				道路網の安全性と信頼性を向上できた箇所数(橋梁点検61橋、橋梁補修設計2橋、橋梁修繕工事4橋)			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由			
	A:妥当である	市が管理する橋梁の為、市が主体的に修繕を行う必要がある。	A:有効である	橋梁の点検及び補修設計により、地域の道路網の安全性と信頼性の向上に寄与した。	B:やや効率的である	市管理橋梁の修繕工事が一部とどまったため。		
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由			
	C:実現の余地がない	橋梁修繕工事であり、実現の余地がない。	C:実現の余地がない	橋梁修繕工事であり、実現の余地がない。	C:実現の余地がない	橋梁修繕工事であり、実現の余地がない。		
	所管による評価とその理由、課題・問題点							
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	当該年度の執行は概ね予定通りであったが、市で修繕すべき橋梁が多数残っている。						
	企画政策課での評価とその理由							
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	当初の計画通り事業が行われていることから、一定の成果があったと認められる。引き続き、橋梁長寿命化修繕計画に基づき、事業を推進するものとする。						
政策調整会議での評価とその理由								
庁議における方針								

ACT (改善)	令和元年度活動指標(アウトプット)の設定				令和元年度成果指標(アウトカム)の設定			
	国の補助金を活用し橋梁の点検・補修設計・修繕工事を行う。 ・橋梁点検 23橋 ・橋梁補修設計 3橋 ・橋梁修繕工事 3橋				道路網の安全性と信頼性を向上できた箇所数(点検・補修設計・修繕工事を行った箇所数)			
令和元年度における具体的な目標				令和元年度における事務事業スケジュール				
国の補助金を活用し橋梁の点検・補修設計・修繕工事を行う。				「橋梁長寿命化修繕計画」に基づいた事業遂行を図る。				

平成30年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	02	01	02	河川改修事業(乗川)

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	02	03	01	河川改修事業

実施計画整理番号	
302010201	
総合戦略整理番号	0

P L A N (計 画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	流域の浸水被害を軽減し、治水安全度の向上を図る。	河川改修に必要な用地取得を進める。
	平成30年度の具体的な目標	平成30年度スケジュール
	河川改修用地として、3件(1,193m ²)を取得する。 区画道路1号の橋梁架換に係る詳細設計を完了する。	用地交渉(4月～10月)、用地取得(10月～12月) 委託業務(8月～3月)

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	7,880	19,382	11,627	11,880	5,537	5,537	13,400	0	0	0	0	0
財源内訳	国補助	千円	2,626	2,626	3,428	3,960	1,461	1,461	4,466	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	4,700	4,700	6,200	7,100	2,700	2,700	8,000	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	554	12,056	1,999	820	1,376	1,376	934	0	0	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	河川改修に伴う事業用地の取得及び家屋移転	11,880	5,537	5,537	河川拡幅用地として、2件・2筆(841.64m ²)を取得した。 今後は、下流域の護岸詳細設計並びに区画1号道路の橋梁架替工事を進める。
②		0	0	0	
③		0	0	0	
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		11,880	5,537	5,537	

平成30年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
<ul style="list-style-type: none"> ・護岸の詳細設計を実施。 ・区画道路1号の橋梁架替工事に着手。

D
O
(
実
施
)

平成30年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	02	01	02	河川改修事業(乗川)

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	02	03	01	河川改修事業

整理番号
302010201

30年度活動指標(アウトプット)の達成状況 河川拡幅用地として、2件・2筆(841.64m ²)を取得した。 現況河道内の私有地4件・5筆(1,660m ²)を取得した。	30年度成果指標(アウトカム)の達成状況 平成30年度末時点の用地取得率を約62%まで向上させた。	
妥当性の評価とその理由 A:妥当である 流域の浸水被害を軽減し、治水安全度の向上に資する。	有効性の評価とその理由 A:有効である 安全で豊かな地域社会の保全	効率性の評価とその理由 A:効率的である 国の社会資本整備総合交付金により実施。
「情報の共有」の状況とその理由 B:実現に向けて取り組んでいる 地元からの要請により事業進捗状況の説明を自治会回覧で行っている。	「参加」の状況とその理由 B:実現に向けて取り組んでいる 地元からの要請により事業進捗状況の説明を行っている。	「協働」の状況とその理由 B:実現に向けて取り組んでいる 地元自治会や関係者の意見を聴取している。
所管による評価とその理由、課題・問題点 B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割) 河川拡幅用地 2件・2筆(841.64m ²)、現況河道内の私有地4件・5筆(1,660m ²)を取得し一定の成果はあったが、早期の工事着工が地元から求められている。		
企画政策課での評価とその理由 B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割) 用地取得率が向上しており、一定の成果が認められる。引き続き、用地の取得に努め、早期の工事着工を目指すものとする。		
政策調整会議での評価とその理由 (Blank)		
庁議における方針 (Blank)		

令和元年度活動指標(アウトプット)の設定 ・護岸の詳細設計を実施。 ・用地買収を進める。	令和元年度成果指標(アウトカム)の設定 委託業務の執行及び用地取得率
令和元年度における具体的な目標 ・下流域の護岸詳細設計を完了する。 ・用紙買収1件を進める。	令和元年度における事務事業スケジュール 委託(7月~3月) 用地(12月~3月)

CHECK(評価)

ACT(改善)

平成30年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	02	01	02	河川改修事業(梅田川)

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	02	03	01	河川改修事業

実施計画整理番号	
302010202	
総合戦略整理番号	0

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	流域の浸水被害を軽減し、治水安全度の向上を図る。	(仮)早野排水機場の設置を行う。
	平成30年度の具体的な目標	平成30年度スケジュール
	用地取得件数全6件(1900㎡)を完了する。	用地交渉(4月~9月)、用地取得(9月~3月)

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	48,314	45,713	12,213	142,500	145,549	124,840	171,964	0	0	855,743	0	0	
財源内訳	国補助	千円	16,000	16,000	3,744	47,500	47,256	41,455	57,322	0	0	285,247	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	29,000	29,000	6,900	85,500	87,100	76,600	103,200	0	0	513,400	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	3,314	713	1,569	9,500	11,193	6,785	11,442	0	0	57,096	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	(仮)早野排水機場設置	142,500	145,549	124,840	事業用地全6件の契約を締結し、5件の引き渡し完了した。今後、残る1件の引き渡しを受け工事に着手する。
②		0	0	0	
③		0	0	0	
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		142,500	145,549	124,840	

平成30年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)	
早野排水機場整備に係る用地購入及び物件移転等補償の全6件の契約を締結し、5件の引き渡し完了した。	

DO (実施)

平成30年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	302010202
3	02	01	02	河川改修事業(梅田川)	7	02	03	01	河川改修事業	

CHECK (評価)	30年度活動指標(アウトプット)の達成状況				30年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	用地購入及び物件移転等補償の全6件の契約を締結し、5件の引き渡しが完了した。				用地購入及び物件移転等補償の全6件の契約を締結し、5件の引き渡しが完了した。			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由			
	A:妥当である	流域の浸水被害を軽減し、治水安全度の向上に資する。	A:有効である	安全で豊かな地域社会の保全に資する。	A:効率的である	国の社会資本整備総合交付金により実施。		
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由			
	B:実現に向けて取り組んでいる	一宮川流域浸水対策協議会や自治会回覧で計画及び進捗状況の説明に努めている。	B:実現に向けて取り組んでいる	一宮川流域浸水対策協議会や自治会回覧で計画及び進捗状況の説明に努めている。	B:実現に向けて取り組んでいる	一宮川流域浸水対策協議会において、事業評価や改善検討を行っている。		
	所管による評価とその理由、課題・問題点							
	B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	用地購入及び物件移転等補償の全6件の契約が締結でき一定の成果があった。課題としては、今後、工事費に多額の費用が必要となってくる。						
	企画政策課での評価とその理由							
	B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	用地購入及び物件移転等補償の契約が締結され、目標は達成されたと認められる。今後も事業の着実な進捗に努めるものとする。						
政策調整会議での評価とその理由								
庁議における方針								

ACT (改善)	令和元年度活動指標(アウトプット)の設定				令和元年度成果指標(アウトカム)の設定			
	早野排水機場整備に係る工事執行				早野排水機場整備の工事着手			
令和元年度における具体的な目標				令和元年度における事務事業スケジュール				
樋管工及び本体工の工事着手				設計書作成(4月~6月) 入札・契約(7月~9月) 工事(9月~3月)				

平成30年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	04	03	01	合併処理浄化槽設置促進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	01	07	02	浄化槽対策事業

実施計画整理番号	
304030101	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか) 合併処理浄化槽設置促進について、単独処理浄化槽及び汲み取り便槽から合併処理浄化槽への転換設置に対する補助制度を継続するとともに、浄化槽の機能を発揮させるため設置者への指導や広報紙等による啓発を行い、公共用水域の水質汚濁防止に努めます。	活動内容(目的を達成するために何を行うか) 単独処理浄化槽及び汲み取り便槽から合併処理浄化槽への転換設置する市民に対し補助金を交付する。
平成30年度の具体的な目標 単独処理浄化槽からの転換18基、汲み取り便槽からの転換7基を実施する。	平成30年度スケジュール 4月ホームページ掲載 4月10日広報掲載

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	9,190	9,190	7,240	9,190	9,190	7,090	13,448	0	0	13,448	0	0	
財源内訳	国補助	千円	1,750	1,750	0	1,750	1,750	980	2,616	0	0	2,616	0	0
	県補助	千円	3,720	3,720	0	3,720	3,720	2,880	5,416	0	0	5,416	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	3,720	3,720	7,240	3,720	3,720	3,230	5,416	0	0	5,416	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	合併処理浄化槽の設置促進	9,190	9,190	7,090	設置補助19基、一定の成果を挙げた。今後は、補助金を増額し、より一層の促進を図る。
②	広報による浄化槽の適正管理の推進	0	0	0	概ね達成できた。引き続き推進する。
③		0	0	0	
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		9,190	9,190	7,090	

平成30年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

平成30年度合併処理浄化槽設置整備補助金
 単独浄化槽から転換
 5人槽390,000円×15基=5,850,000円
 汲み取り便槽から転換
 5人槽310,000円×3基=930,000円
 7人槽310,000円×1基=310,000円

PLAN(計画)

DO(実施)

平成30年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	04	03	01	合併処理浄化槽設置促進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	01	07	02	浄化槽対策事業

整理番号
304030101

CHECK (評価)	30年度活動指標(アウトプット)の達成状況		30年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	平成30年度合併処理浄化槽補助基数 19基 単独浄化槽から転換:5人槽15基 汲み取り便槽から転換:5人槽3基、7人槽1基		水質汚濁防止が図られた処理人口 57人 平成30年度末合併処理浄化槽処理人口 31,041人			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
	A:妥当である 単独浄化槽及び汲み取り便槽から合併浄化槽への転換をする市民に対し補助金を交付した。		A:有効である 生活排水対策として、地域・建物の用途を定め合併処理浄化槽への転換設置者に対し助成を行い、公共用水域の水質汚濁防止を推進した。		A:効率的である 浄化槽の機能を発揮させるため、設置者への指導や広報紙等による啓発を行った。	
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
	A:実現している 広報やホームページにより制度の概要について周知している。		C:実現の余地がない		C:実現の余地がない	
	所管による評価とその理由、課題・問題点					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)		合併処理浄化槽への転換補助により、公共用水域の水質汚濁の防止のための生活排水対策を促進し、一定の成果を挙げた。より一層の事業の推進を図るため、県内で低い水準にある現行の補助金額を増額する必要がある。			
	企画政策課での評価とその理由					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)		補助の実施により、公共用水域の水質汚濁の防止に成果があったと認められる。目標補助基数に達していないことから、補助額の増額とあわせ、更なる制度の周知を図ることにより目標補助基数を達成するよう努めるものとする。			
政策調整会議での評価とその理由						
庁議における方針						

ACT (改善)	令和元年度活動指標(アウトプット)の設定		令和元年度成果指標(アウトカム)の設定	
	補助基数		水質汚濁防止が図られた処理人口	
令和元年度における具体的な目標		令和元年度における事務事業スケジュール		
単独処理浄化槽からの転換18基、汲み取り便槽からの転換7基を実施する。		4月ホームページ掲載 4月10月広報掲載		

平成30年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	04	04	01	排水整備事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	02	02	02	排水整備事業

実施計画整理番号	
304040101	
総合戦略整理番号	0

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	幹線排水路及び生活排水路を計画的に整備することにより、排水不良の解消及び住環境の整備を図る。	茂原市排水基本計画に基づき排水施設の整備を進める。
	平成30年度の具体的な目標	平成30年度スケジュール
	排水路整備2箇所の実施	排水路整備(9月～3月)

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	21,264	29,660	28,053	40,044	34,846	30,823	18,800	0	0	14,400	0	0	
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市債	千円	15,900	15,900	21,000	30,000	25,900	23,100	14,100	0	0	10,800	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	5,364	13,760	7,053	10,044	8,946	7,723	4,700	0	0	3,600	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	幹線排水路の整備	10,044	28,859	25,564	計画した排水路整備の一部が完了した。継続して残りの排水路整備を実施していく。
②	支線排水路の整備	30,000	5,987	5,259	計画した排水路整備が完了した。
③		0	0	0	
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		40,044	34,846	30,823	

<p>平成30年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国府関字富長谷地先 整備延長 L=60.0m ・本納字田中下地先 整備延長 L=14.7m ・本納字金谷前 整備延長 L=20.0m
--

DO (実施)

平成30年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	04	04	01	排水整備事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	02	02	02	排水整備事業

整理番号
304040101

CHECK (評価)	30年度活動指標(アウトプット)の達成状況		30年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	排水不良地区3箇所(継続箇所)の整備を行った。		整備率(着手率) 107箇所/190箇所 56%			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
	A:妥当である	排水不良が解消され生活環境の向上に資する。	A:有効である	排水不良が解消された。	B:やや効率的である	事業箇所の選択と集中を行い、コスト削減を図る必要がある。
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
	B:実現に向けて取り組んでいる	自治会回覧を行っている。	B:実現に向けて取り組んでいる	地元自治会や関係者の意見(要望)に応えている。	B:実現に向けて取り組んでいる	自治会長や関係者と協議を行っている。
	所管による評価とその理由、課題・問題点					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	予定箇所の一部が繰越となったが、概ねの整備が図られた。地域住民からの整備要望が多く、要望に対して進捗が図れない状況である。				
	企画政策課での評価とその理由					
	B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	計画した排水路整備の一部が完了しており、一定の成果が認められる。引き続き、計画的な整備に努めるものとする。				
政策調整会議での評価とその理由						
(この欄は斜線が入ります)						
庁議における方針						
(この欄は斜線が入ります)						

ACT (改善)	令和元年度活動指標(アウトプット)の設定		令和元年度成果指標(アウトカム)の設定	
	排水不良箇所の整備(箇所数)		整備率(着手率)	
令和元年度における具体的な目標		令和元年度における事務事業スケジュール		
排水路整備2箇所の実施		排水路整備(5月~3月)		

平成30年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	04	04	01	内水対策関連事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	02	02	01	内水対策関連事業

実施計画整理番号	
304040102	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか) 平成25年10月の台風26号に伴う浸水被害を受け、同程度の大雨による床上床下被害を大幅に軽減することを目標に対策を行う。	活動内容(目的を達成するために何を行うか) 床上床下の浸水被害が大きい地区の水門に排水ポンプ施設を設置し早期に被害軽減を図る。
平成30年度の具体的な目標 東郷地先水門のポンプ設備工事の完了 東郷地先水門の既設水門撤去工事の完了 長清水水門のポンプ躯体工事の完了	平成30年度スケジュール 東郷地先水門のポンプ設備工事(H29繰越～6月) 東郷地先水門の既設水門撤去工事(9月～3月) 長清水水門のポンプ躯体工事(9月～3月)

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	220,702	333,616	124,913	107,861	337,669	281,429	399,597	0	0	139,510	0	0
財源内訳	国補助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	32,000	32,000	18,000	32,000	64,000	32,000	32,000	0	0	54,296	0	0
	市債	141,500	141,500	80,100	56,800	205,300	187,000	275,600	0	0	63,900	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	47,202	160,116	26,813	19,061	68,369	62,429	91,997	0	0	21,314	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	東郷地先水門(排水ポンプ設置)	10,540	233,853	236,278	排水ポンプの設置が完了し、浸水被害の軽減が図られる。
②	長清水水門(排水ポンプ設置)	91,021	103,816	45,151	排水ポンプ整備に係る躯体工事に着手し、引き続き、設備工事を実施し被害軽減を図る。
③	鷺巣稲荷前水門(排水ポンプ設置)	0	0	0	
④	早野明光地区	6,300	0	0	
⑤	東茂原地区	0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		107,861	337,669	281,429	

平成30年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

- ・東郷地先水門のポンプ設備工事を実施。
- ・東郷地先水門の既設水門撤去工事を実施。
- ・長清水水門のポンプ躯体工事を実施。

平成30年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	304040102
3	04	04	01	内水対策関連事業	7	02	02	01	内水対策関連事業	

CHECK (評価)	30年度活動指標(アウトプット)の達成状況				30年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	東郷地先水門のポンプ設備工事及び既設水門撤去工事の完了。 長清水水門のポンプ躯体工事の実施(令和元年度繰越)。				内水排除ポンプ設置(東郷地先水門)による浸水被害の軽減。			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由			
	A:妥当である	流域の浸水被害を軽減し、治水安全度の向上に資する。	A:有効である	安全で豊かな地域社会の保全に資する。	B:やや効率的である	事業箇所を選択と集中により、効率の向上が見込める余地がある。		
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由			
	B:実現に向けて取り組んでいる	自治会回覧等において整備に関する説明を行っている。	B:実現に向けて取り組んでいる	自治会等から整備に関する意見を受けている。	B:実現に向けて取り組んでいる	地元調整が必要な事案について、自治会等と協議を行っている。		
	所管による評価とその理由、課題・問題点							
	B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	東郷地先水門の内水排除ポンプが完成し、浸水被害の軽減が図られた。また、長清水水門のポンプ躯体工事を進めたが繰越となった。						
	企画政策課での評価とその理由							
	B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	予定した工事の完了及び着手をしており、一定の成果があったと認められる。繰越となった工事の早期完了を目指すとともに、工事の着実な進捗に努めるものとする。						
政策調整会議での評価とその理由								
庁議における方針								

ACT (改善)	令和元年度活動指標(アウトプット)の設定				令和元年度成果指標(アウトカム)の設定			
	内水排除ポンプ設置(長清水水門) 機械設備の完了 1箇所 内水排除ポンプ設置(鷺巣稲荷前水門) 着手 1箇所				内水排除ポンプ設置			
令和元年度における具体的な目標				令和元年度における事務事業スケジュール				
長清水水門のポンプ躯体工事の完了 長清水水門のポンプ機械設備工事の完了 鷺巣稲荷前水門のポンプ躯体工事の完了				長清水水門のポンプ躯体工事(H30繰越~10月) 長清水水門のポンプ機械設備工事(9月~3月) 鷺巣稲荷前水門のポンプ躯体工事(7月~2月)				

平成30年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	04	04	01	道路排水整備事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	01	03	04	道路排水新設事業

実施計画整理番号	
304040103	
総合戦略整理番号	0

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	道路利用者の安全性を確保するために、道路排水不良箇所の整備を行う。	道路排水整備工事の実施
	平成30年度の具体的な目標	平成30年度スケジュール
	3級8184号線他予定された箇所について、早期発注を目指す。	予定している6路線について上半期の発注を行う。

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	9,951	17,538	17,445	5,622	19,149	14,405	7,040	0	0	6,600	0	0	
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市債	千円	0	0	0	0	14,300	10,800	5,200	0	0	4,900	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	9,951	17,538	17,445	5,622	4,849	3,605	1,840	0	0	1,700	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	道路排水の整備	5,622	19,149	14,405	3-6160外6路線の整備が完了した。 3-5008については繰越明許した。 市内各所の要望について継続して整備を行う。
②		0	0	0	
③		0	0	0	
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		5,622	19,149	14,405	

平成30年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
・3-6160他6路線の工事を実施した。工事延長L=179.9m

DO (実施)

平成30年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目				整理番号	
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	304040103
3	04	04	01	道路排水整備事業	7	01	03	04	道路排水新設事業	

CHECK (評価)	30年度活動指標(アウトプット)の達成状況				30年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	道路排水不良箇所7路線の整備を行った。				整備(着手)率 84箇所/327箇所 25.69%			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由			
	A:妥当である	茂原市が関与すべき事業であり、道路利用者が安全・安心に利用できるような整備をした。また、市民からの要望も多い。	A:有効である	排水不良箇所の解消が図れた。	B:やや効率的である	事業箇所の選択・集中を行い、コスト削減を図る必要がある。		
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由			
	B:実現に向けて取り組んでいる	自治会回覧を行っている。	B:実現に向けて取り組んでいる	地元自治会や関係者の意見(要望)に応えている。	B:実現に向けて取り組んでいる	自治会長や関係者と協議を行っている。		
	所管による評価とその理由、課題・問題点							
	B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	当初及び補正予算の予定路線の整備が概ね図れた。(1路線の工事を繰越明許した。)複数路線を継続して実施しているが、住民要望は増加しており、要望に対して進捗が図れない状況であり、事業費の増による対策が必要である。						
企画政策課での評価とその理由								
B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	おおむね予定路線の整備が図られ、一定の成果が認められる。道路利用者の安全性を確保するため、引き続き、計画的な事業の進捗に努めるものとする。							
政策調整会議での評価とその理由								
庁議における方針								

ACT (改善)	令和元年度活動指標(アウトプット)の設定				令和元年度成果指標(アウトカム)の設定			
	排水不良箇所の整備(箇所数)				整備(着手)率			
令和元年度における具体的な目標				令和元年度における事務事業スケジュール				
3級8184号線他予定された箇所について、早期発注を目指す。				予定している2路線について上半期の発注を行う。また繰越明許した1路線については早期に発注する。				

平成30年度 事務事業整理シート

基本計画			
章	節	項	細
実施計画事業名			
3	05	02	03
緑化推進事業			

予算科目			
款	項	目	事
事業名			
4	01	06	02
緑化推進事業			

実施計画整理番号	
305020301	
総合戦略整理番号	0

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	<p>緑のある美しいまちづくりを進めるため、公共施設へ緑や花の植栽に努めるとともに、自治会等に市の花コスモスの種子を配布するなど、全市的な「花いっぱい運動」を展開し、普及を図ることを目標とする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設への緑や花の植栽 自治会等に市の花コスモスの種子配布 花いっぱいコンクールの実施
	平成30年度の具体的な目標	平成30年度スケジュール
	<ul style="list-style-type: none"> 茂原駅ロータリー、公民館前の花壇への植栽 公共施設等に草花を配布 自治会等に市の花コスモスの種子を配布 花いっぱいコンクールを年2回(春・秋)開催 花いっぱい運動推進協議会の活動支援のため補助金の交付 	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設への草花の植栽(通年) 自治会等に市の花コスモスの種子の配布 花いっぱいコンクールの実施(春・秋) 花いっぱい運動推進協議会の運営(通年)

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	2,331	2,331	2,298	2,269	2,257	2,246	2,316	0	0	2,290	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	10	10	10	10	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	2,321	2,321	2,288	2,259	2,257	2,246	2,316	0	0	2,290	0

DO (実施)	個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
			計画	予算	決算	
	①	公共施設への緑や花の植栽	1,773	1,704	1,670	概ね達成できた。引き続き実施する。
	②	自治会等に市の花コスモスの種子配布	324	381	406	概ね達成できた。引き続き実施する。
	③	花いっぱいコンクールの実施	82	82	80	概ね達成できた。引き続き実施する。
	④	花いっぱい運動推進協議会の運営	90	90	90	概ね達成できた。引き続き実施する。
	⑤		0	0	0	
	⑥		0	0	0	
	⑦		0	0	0	
	⑧		0	0	0	
	⑨		0	0	0	
	⑩		0	0	0	
事業費計		2,269	2,257	2,246		

平成30年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
<ul style="list-style-type: none"> 茂原駅南口、東口ロータリー花壇及び公民館前花壇への草花の植栽及び公共施設等に草花を配布した。 自治会等に市の花コスモスの種子を配布した。(160リットル) 花いっぱいコンクールを年2回(春・秋)開催した。 花いっぱい運動推進協議会の活動を支援するため、補助金を交付した。

平成30年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	305020301
3	05	02	03	緑化推進事業	4	01	06	02	緑化推進事業	

CHECK (評価)	30年度活動指標(アウトプット)の達成状況				30年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	全市的な花いっぱい運動を展開することを指標とする。 ・公共施設への草花の植栽(16,891苗) ・自治会等に市の花コスモスの種子を配付(160リットル) ・花いっぱいコンクールの実施(春・秋) ・花いっぱい運動推進協議会の運営				緑や花を育てる市民意識の高揚を図り、緑豊かなうるおいのあるまちづくりに努める。 ・花いっぱいコンクール参加者数(5個人、29団体) ・地域の花壇数(15箇所)			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由			
	A:妥当である	公共施設へ草花を植栽し、緑ある美しいまちづくりを推進した。	A:有効である	自治会等に市の花コスモスの種子を配付したり花いっぱいコンクールを開催したりするなど全市的な運動を展開した。	A:効率的である	千葉県まちづくり公社から寄付を受けた花苗を有効活用した。		
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由			
	A:実現している	広報紙や市ウェブサイトでコンクールの周知を図った。	B:実現に向けて取り組んでいる	コンクール参加者の増加に取り組む必要がある。	A:実現している	花いっぱい運動推進協議会と連携し取り組んだ。		
所管による評価とその理由、課題・問題点								
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	各種取り組みを通じて市民意識の高揚を図ることで緑化推進に成果をあげることができた。花いっぱいコンクールの参加者の増加に取り組む必要がある。							
企画政策課での評価とその理由								
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	緑化推進に一定の成果があったと認められる。引き続き、市民意識の高揚を図るとともに、花いっぱいコンクール参加者増に向け、検討をするものとする。							
政策調整会議での評価とその理由								
庁議における方針								

ACT (改善)	令和元年度活動指標(アウトプット)の設定				令和元年度成果指標(アウトカム)の設定			
	全市的な花いっぱい運動を展開することを指標とする。 ・公共施設への草花の植栽(配布数) ・自治会等に市の花コスモスの種子を配付(配布量) ・花いっぱいコンクールの実施(春・秋) ・花いっぱい運動推進協議会の運営				緑や花を育てる市民意識の高揚を図り、緑豊かなうるおいのあるまちづくりに努める。 ・花いっぱいコンクール参加者数 ・地域の花壇数			
令和元年度における具体的な目標				令和元年度における事務事業スケジュール				
・茂原駅ロータリー、公民館前の花壇への植栽 ・公共施設等に草花を配付 ・自治会等に市の花コスモスの種子を配付 ・花いっぱいコンクールを年2回(春・秋)開催 ・花いっぱい運動推進協議会の活動支援のため補助金の交付				・公共施設への草花の植栽(通年) ・自治会等に市の花コスモスの種子の配付 ・花いっぱいコンクールの実施(春・秋) ・花いっぱい運動推進協議会の運営(通年)				

平成30年度 事務事業整理シート

基本計画			
章	節	項	細
実施計画事業名			
3	05	03	01
都市公園等維持補修事業			

予算科目			
款	項	目	事
事業名			
7	03	03	03
都市公園等維持補修事業			

実施計画整理番号	
305030101	
総合戦略整理番号	0

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	公園内の遊具・施設について、子供たちが楽しく、安心して遊べるよう、適切な維持管理を行う	老朽化した遊具・施設を計画的に補修・更新していく。
	平成30年度の具体的な目標	平成30年度スケジュール
	公園の利用者数の増加(茂原公園・富士見公園・萩原公園)	①各種公園の補修工事2件 ②各種公園の施設設置工事3件

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	2,571	2,853	2,798	4,276	9,763	9,583	10,308	0	0	3,206	0	0	
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	1,728	1,652	5,292	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	2,571	2,853	2,798	4,276	8,035	7,931	5,016	0	0	3,206	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	茂原公園の施設整備	0	0	0	
②	富士見公園の施設整備	732	1,296	1,295	公園灯(LED灯3基)の設置を行った。今後も、継続して施設の充実を図っていく。
③	萩原公園の施設整備	0	0	0	
④	各公園の老朽遊具の更新	1,544	3,606	3,097	ブランコ(高師中央公園)、健康遊具3基(緑町A公園)等の設置を行った。今後も、安全を考慮した遊具の更新を行っていく。
⑤	各公園の老朽施設の補修	2,000	4,861	5,191	フェンス(千代田公園・あゆのや公園)、広場舗装(高久蓮池公園)等の補修を行った。今後も、安全を考慮した施設補修を進めていく。
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		4,276	9,763	9,583	

平成30年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
①各種公園の補修工事4件(4公園) ②各種公園の施設設置工事5件(4公園)

DO (実施)

平成30年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	05	03	01	都市公園等維持補修事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	03	03	03	都市公園等維持補修事業

整理番号
305030101

CHECK (評価)	30年度活動指標(アウトプット)の達成状況		30年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	①各種公園の補修工事4件(4公園) ②各種公園の施設設置工事5件(4公園)		公園の利用者数の増加(茂原公園・富士見公園・萩原公園)			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
	A:妥当である 公園の適正な維持管理をするため、公共事業で施工管理する必要がある。		A:有効である 公園遊具の安全は保たれ、事業成果は確実に得られている。		A:効率的である 日常の点検管理を行い、将来的なコスト増大にならないよう予防保全的な維持管理に努める。	
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
	C:実現の余地がない 施設の整備工事及び補修工事であり、取り組み余地がない。		C:実現の余地がない 施設の整備工事及び補修工事であり、取り組み余地がない。		C:実現の余地がない 施設の整備工事及び補修工事であり、取り組み余地がない。	
	所管による評価とその理由、課題・問題点					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)		安全性を求められる公園遊具の補修について速やかに対応できた。利用者の安心安全な公園維持のため、計画的な維持管理が必要がある。			
	企画政策課での評価とその理由					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)		各種公園の整備工事及び補修工事を実施し、公園の適正な維持管理に一定の成果が認められる。引き続き計画的な公園整備に努めるものとする。			
政策調整会議での評価とその理由						
庁議における方針						

ACT (改善)	令和元年度活動指標(アウトプット)の設定		令和元年度成果指標(アウトカム)の設定	
	①各種公園の補修工事2件 ②各種公園の施設設置工事2件		公園の利用者数の増加(茂原公園・富士見公園・萩原公園等)	
令和元年度における具体的な目標		令和元年度における事務事業スケジュール		
施設点検に努め、子どもたちが楽しく、安心して遊べるよう、適切な維持管理を行う ①各種公園の補修工事2件 ②各種公園の施設設置工事2件		①各種公園の補修工事2件 ②各種公園の施設設置工事2件		

平成30年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	05	03	01	茂原公園再生事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	03	03	05	茂原公園再生事業

実施計画整理番号	
305030102	
総合戦略整理番号	32103

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	茂原市の中心的都市公園である茂原公園を、利用者の増大につながる公園整備の推進と他部門部署と連携したイベントを開催する。また、さくらの点検及び外科治療を継続的に実施し、樹勢回復に努める。	公園内の施設やさくらの樹勢回復などの環境を整備し、ソフト面では、健康づくりのためのウォーキング、体験で学習する場の提供など関係団体と連携しつつ事業を推進する。
	平成30年度の具体的な目標	平成30年度スケジュール
茂原公園内のサクラの外科治療の進捗を図る。 計画数304本 治療済み272本	茂原公園サクラの点検(点検120本) 茂原公園サクラの外科治療(外科治療41本)	

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	3,484	3,484	3,484	1,720	1,729	1,729	12,856	0	0	8,990	0	0	
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	5,000	0	0	3,565	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	4,500	0	0	3,200	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	3,484	3,484	3,484	1,720	1,729	1,729	3,356	0	0	2,225	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	多世代が行き交う公園の改修	0	0	0	
②	茂原公園の桜の再生	1,720	1,729	1,729	サクラ点検120本・外科治療41本を実施。今後も、引続きサクラの再生を進めていく。
③		0	0	0	
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		1,720	1,729	1,729	

平成30年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
茂原公園サクラ点検業務委託 120本 茂原公園サクラ外科治療業務委託 41本

DO (実施)

平成30年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	305030102
3	05	03	01	茂原公園再生事業	7	03	03	05	茂原公園再生事業	

30年度活動指標(アウトプット)の達成状況		30年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
茂原公園サクラの点検(点検120本) 茂原公園サクラの外科治療(外科治療41本)		・茂原公園内のサクラの外科治療が進んだ。 計画数353本、治療済み272本			
妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
A:妥当である	茂原公園再生計画は、観光地としての魅力向上や、多世代が集う場として公園再生に結びつくものである。	A:有効である	さくらの外科治療により樹勢回復の成果が確実に得られている。	B:やや効率的である	茂原公園再生にかかる経費削減は避けられないが、今後の経費増大にならないよう適正な維持管理に努める。
「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
その他	茂原公園再生計画におけるハード整備実施予定年度との整合性がないため、共有が難しい。	B:実現に向けて取り組んでいる	茂原公園再生計画に、市民参加型のソフト事業の取組が計画されている。	B:実現に向けて取り組んでいる	茂原公園再生計画に、市民参加型のソフト事業の取組が計画されている。
所管による評価とその理由、課題・問題点					
B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	日本さくらの名所100選として、さくらの魅力の再生やさくらを楽しむための知名度の向上を図るため、さくらの健全度調査や外科治療の成果は得られていると考えるが、茂原公園再生計画における観光地としての魅力向上や多世代の来園者の増大につなげるためには、ハード整備による環境を整えることが必要不可欠である。				
企画政策課での評価とその理由					
B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	桜の再生は着実に進んでおり、一定の成果があったものと認められる。引き続き、桜の再生を計画的に実施するとともに、利用者増大の方策を検討するものとする。				
政策調整会議での評価とその理由					
庁議における方針					

A C T (改 善)	令和元年度活動指標(アウトプット)の設定	令和元年度成果指標(アウトカム)の設定
	茂原公園サクラの点検(全サクラ対象) 茂原公園サクラの外科治療(外科治療39本)	茂原公園内のサクラの外科治療の進捗を図る。 計画数353本 治療済み272本
	令和元年度における具体的な目標	令和元年度における事務事業スケジュール
	サクラの点検及び外科治療を継続的に実施、樹勢の回復に努める。 茂原公園サクラの点検(全サクラ対象) 茂原公園サクラの外科治療(外科治療39本)	茂原公園内のサクラの外科治療の進捗を図る。 計画数353本 治療済み272本

平成30年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	05	03	01	公園施設整備事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	3	3	6	上茂原調整池公園整備事業

実施計画整理番号	
305030103	
総合戦略整理番号	0

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	千葉県で計画の中の上茂原第二調節池の増設について、調節池を有効利用するため、野球場、グラウンドゴルフ(多目的広場)の施設を都市公園として整備する。また、現在の千葉県の計画では、平成33年度を完成目標としているため、これに併せ上面利用の整備を進める。	社会資本整備総合交付金を活用し、調節池の一部を都市公園整備を行なう。
	平成30年度の具体的な目標	平成30年度スケジュール
	県が整備する第二調節池増設部の上面を有効利用するため、整備工事に向け実施設計業務を発注する。	第二調節池増設部上面利用実施設計業務委託の発注

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	0	0	0	17,000	10,000	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	12,700	7,500	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	0	0	0	4,300	2,500	0	0	0	0	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	上茂原調整池公園整備事業	17,000	10,000	0	地元調整が整わず、実施設計業務は未執行となった。なお、本事業は中止が決定された。
②		0	0	0	
③		0	0	0	
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		17,000	10,000	0	

平成30年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
上茂原調整池公園整備事業については中止となった。

DO (実施)

平成30年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	05	03	01	公園施設整備事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	3	3	6	上茂原調整池公園整備事業

整理番号
305030103

30年度活動指標(アウトプット)の達成状況	30年度成果指標(アウトカム)の達成状況
上茂原調整池公園整備事業は中止となる。	上茂原調整池公園整備事業は中止となる。

妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
D:妥当ではない	調節池上面利用は、地元理解が得られず事業の中止となった。このことから、この事業の実施は妥当ではなかった。	D:有効ではない	市主体による調節池の上面管理を前提とした事業であったが、財産管理者である県が主体的に管理すべきであった。	D:効率的ではない	事業実施によって、今後継続して維持管理費等が発生し、将来的なコストの増加が考えられる。

「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
その他	事業実施に至らず、事業中止となる。	その他	事業実施に至らず、事業中止となる。	その他	事業実施に至らず、事業中止となる。

所管による評価とその理由、課題・問題点	
C:事業の対象や手法の見直しが必要(達成度3割以下)	地元調整が整わず、事業が中止となる。

企画政策課での評価とその理由	
	評価なし

政策調整会議での評価とその理由	

庁議における方針	

令和元年度活動指標(アウトプット)の設定	令和元年度成果指標(アウトカム)の設定
なし	なし

令和元年度における具体的な目標	令和元年度における事務事業スケジュール
なし	なし

CHECK (評価)

ACT (改善)

平成30年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	05	03	01	公園施設長寿命化計画策定事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	3	3	5	茂原公園再生事業

実施計画整理番号	
305030104	
総合戦略整理番号	32103

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか) 都市公園の公園施設について、安全の確保及びライフサイクルコスト縮減の観点から、公園施設の効果的・効率的な改修計画を策定する。	活動内容(目的を達成するために何を行うか) 社会資本整備総合交付金を活用し、公園施設長寿命化計画を策定する。
平成30年度の具体的な目標	平成30年度スケジュール
施設ごとの適切な維持管理方法を明らかにし、計画的な修繕・改築・更新が出来るよう、長寿命化計画を策定する。	①社会資本整備総合交付金 手続き ②茂原公園施設等長寿命化計画策定業務 発注

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	0	0	0	9,700	9,591	8,532	0	0	0	0	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	4,500	4,750	4,266	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	0	0	0	5,200	4,841	4,266	0	0	0	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	公園施設長寿命化計画の策定	9,700	9,591	8,532	社会資本整備総合交付金を活用した長寿命化計画策定業務を発注。今後は、計画的な施設等の修繕・改築・更新を進めていく。
②		0	0	0	
③		0	0	0	
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		9,700	9,591	8,532	

平成30年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

予備調査、健全度調査を実施し、茂原公園施設等長寿命化計画を策定した。

PLAN (計画)

DO (実施)

平成30年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	305030104
3	05	03	01	公園施設長寿命化計画策定事業	7	3	3	5	茂原公園再生事業	

CHECK (評価)	30年度活動指標(アウトプット)の達成状況				30年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	施設の予備調査、健全度調査を実施し、茂原公園施設等長寿命化計画を策定した。				施設ごとの維持管理方法を明確化し、計画的な修繕・改築・更新を行えるようになる。			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由			
	A:妥当である	茂原公園施設等の長寿命化を目指すため、公共事業により施工管理する必要がある。	A:有効である	施設ごとの維持管理方法を明確にでき、今後活用できる計画となった。	A:効率的である	安全面とライフサイクルコストの縮減を考慮した計画で、維持管理のうえで効率的な内容となっている。		
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由			
	A:実現している	ホームページでの公表	C:実現の余地がない	施設の予備調査、健全度調査を実施したうえで策定する計画であり、市民が取り組む余地は少ない。	C:実現の余地がない	施設の予備調査、健全度調査を実施したうえで策定する計画であり、市民が取り組む余地は少ない。		
	所管による評価とその理由、課題・問題点							
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	老朽化が進む茂原公園の施設に対し、公園利用者の安全の確保及びライフサイクルコスト縮減の観点から施設毎の適切な維持管理方法を明らかにすることが出来た。						
企画政策課での評価とその理由								
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	茂原公園施設等長寿命化計画が策定され、成果があったものと認められる。今後は計画に基づき、計画的な修繕・改築・更新を実施するよう努めるものとする。							
政策調整会議での評価とその理由								
庁議における方針								

ACT (改善)	令和元年度活動指標(アウトプット)の設定				令和元年度成果指標(アウトカム)の設定			
	①社会資本整備総合交付金 手続き ②弁天湖改修に伴う地質調査 ③弁天湖路線測量				交付金を活用し、次年度実施予定の実施設計資料を整える。			
令和元年度における具体的な目標				令和元年度における事務事業スケジュール				
①社会資本整備総合交付金 手続き ②弁天湖改修に伴う地質調査 ③弁天湖路線測量				①社会資本整備総合交付金 手続き ②弁天湖改修に伴う地質調査 ③弁天湖路線測量				

平成30年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	06	01	01	市営住宅長寿命化事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	04	01	05	市営住宅長寿命化事業

実施計画整理番号	
306010101	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか) 老朽化した市営住宅ストックを活用していく中で、ライフサイクルコストの削減と事業量の平準化を図りながら、効率的かつ円滑な改善を行う。	活動内容(目的を達成するために何を行うか) 市営住宅長寿命化計画に基づき、ストック活用していく住宅に対し長寿命化型及び住居性確保型の改善を行う。 ・給水方式変更、給水設備改善 ・給湯設備改善 また、旧耐震基準で建設された市営住宅については、耐震診断を行う。
平成30年度の具体的な目標 旧耐震基準で建設された長谷住宅の耐震診断を実施し、耐震性の有無を確認する。	平成30年度スケジュール 長谷住宅の耐震診断を実施し、耐震診断結果について、第三者判定機関で評定を行い、適合水準を確認する。

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	0	0	0	0	7,292	7,236	8,844	0	0	0	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	2,622	3,618	2,658	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	0	0	0	0	4,670	3,618	6,186	0	0	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	八幡原住宅(1, 2号棟)耐震診断業務	0	0	0	令和元年度に事業実施予定。
②	長谷住宅(1~3号棟)耐震診断業務	0	7,292	7,236	耐震診断を実施した結果、3棟全てにおいて、耐震性が確認された。
③		0	0	0	
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		0	7,292	7,236	

平成30年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

- ・長谷住宅の耐震診断を実施し、診断の結果3棟全てが耐震性を有していると判定された。
- ・上記の耐震診断の結果について、第三者判定機関により評定され、適合する水準であることを確認した。

PLAN(計画)

DO(実施)

平成30年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	06	01	01	市営住宅長寿命化事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	04	01	05	市営住宅長寿命化事業

整理番号
306010101

<p>30年度活動指標(アウトプット)の達成状況</p> <p>市営長谷住宅の耐震診断の実施完了。</p>	<p>30年度成果指標(アウトカム)の達成状況</p> <p>市営長谷住宅において、耐震性を有していることが確認された。市営八幡原住宅の耐震診断は実施することができなかつたため、事業に遅れが生じている。</p>												
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">妥当性の評価とその理由</th> <th colspan="2">有効性の評価とその理由</th> <th colspan="2">効率性の評価とその理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="width: 15%;">A:妥当である</td> <td style="width: 35%;">市営住宅長寿命化計画に基づき、耐震性について未判定の市営住宅に対し診断を実施した。</td> <td style="width: 15%;">A:有効である</td> <td style="width: 35%;">耐震性を有していることが確認された。</td> <td style="width: 15%;">A:効率的である</td> <td style="width: 35%;">耐震性の確認により、今後の改善工事で、耐震化工事を要しないことが明確となった。</td> </tr> </tbody> </table>		妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由		A:妥当である	市営住宅長寿命化計画に基づき、耐震性について未判定の市営住宅に対し診断を実施した。	A:有効である	耐震性を有していることが確認された。	A:効率的である	耐震性の確認により、今後の改善工事で、耐震化工事を要しないことが明確となった。
妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由									
A:妥当である	市営住宅長寿命化計画に基づき、耐震性について未判定の市営住宅に対し診断を実施した。	A:有効である	耐震性を有していることが確認された。	A:効率的である	耐震性の確認により、今後の改善工事で、耐震化工事を要しないことが明確となった。								
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">「情報の共有」の状況とその理由</th> <th colspan="2">「参加」の状況とその理由</th> <th colspan="2">「協働」の状況とその理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="width: 15%;">その他</td> <td style="width: 35%;">情報提供の必要性について検討する。</td> <td style="width: 15%;">C:実現の余地がない</td> <td style="width: 35%;">そぐわないと考える。</td> <td style="width: 15%;">C:実現の余地がない</td> <td style="width: 35%;">そぐわないと考える。</td> </tr> </tbody> </table>		「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由		その他	情報提供の必要性について検討する。	C:実現の余地がない	そぐわないと考える。	C:実現の余地がない	そぐわないと考える。
「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由									
その他	情報提供の必要性について検討する。	C:実現の余地がない	そぐわないと考える。	C:実現の余地がない	そぐわないと考える。								
<p>所管による評価とその理由、課題・問題点</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td style="width: 15%;">A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)</td> <td style="width: 85%;">市営住宅の長寿命化計画における改善工事に向け、長谷住宅の耐震性の有無を確認することができた。八幡原住宅の耐震診断は、次年度に実施することとなり、その後の改善工事等についても、予算確保の状況により、さらに遅れが生じる可能性があることが課題である。</td> </tr> </tbody> </table>		A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	市営住宅の長寿命化計画における改善工事に向け、長谷住宅の耐震性の有無を確認することができた。八幡原住宅の耐震診断は、次年度に実施することとなり、その後の改善工事等についても、予算確保の状況により、さらに遅れが生じる可能性があることが課題である。										
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	市営住宅の長寿命化計画における改善工事に向け、長谷住宅の耐震性の有無を確認することができた。八幡原住宅の耐震診断は、次年度に実施することとなり、その後の改善工事等についても、予算確保の状況により、さらに遅れが生じる可能性があることが課題である。												
<p>企画政策課での評価とその理由</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td style="width: 15%;">A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)</td> <td style="width: 85%;">長谷住宅の耐震診断を実施しており、成果を挙げたものと認められる。引き続き、長寿命化計画に基づき、ストック活用していく住宅の改善を計画的に実施するよう努めるものとする。</td> </tr> </tbody> </table>		A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	長谷住宅の耐震診断を実施しており、成果を挙げたものと認められる。引き続き、長寿命化計画に基づき、ストック活用していく住宅の改善を計画的に実施するよう努めるものとする。										
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	長谷住宅の耐震診断を実施しており、成果を挙げたものと認められる。引き続き、長寿命化計画に基づき、ストック活用していく住宅の改善を計画的に実施するよう努めるものとする。												
<p>政策調整会議での評価とその理由</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 85%;"></td> </tr> </tbody> </table>													
<p>庁議における方針</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 85%;"></td> </tr> </tbody> </table>													

<p>令和元年度活動指標(アウトプット)の設定</p> <p>市営住宅長寿命化計画に基づき、ストック活用していく老朽化した住宅に対し、ライフサイクルコストの削減と事業量の平準化を図り、効率的かつ円滑な改善を行う。上記に伴い、八幡原1・2号棟住宅耐震性の耐震診断の実施。</p>	<p>令和元年度成果指標(アウトカム)の設定</p> <p>旧耐震基準で建設された八幡原住宅1・2号棟の耐震性の確認を実施する。</p>
<p>令和元年度における具体的な目標</p> <p>旧耐震基準で建設された八幡原住宅1・2号棟の耐震診断を実施し、耐震性の有無を確認する。</p>	<p>令和元年度における事務事業スケジュール</p> <p>八幡原住宅の耐震診断を実施し、耐震診断結果について、第三者判定機関で評定を行い、適合水準を確認する。</p>

CHECK (評価)

ACT (改善)

平成30年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	06	01	01	市営住宅集約化事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	04	01	04	市営住宅集約化事業

実施計画整理番号	
306010102	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要		
PLAN (計画)	<p>事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)</p> <p>市営住宅11住宅、管理戸数759戸のうち、老朽化が激しく、入居率の低い市営吉井住宅、および、市営国府関住宅について、住宅の集約化を図る事により、維持管理費の経費削減を図る。</p>	<p>活動内容(目的を達成するために何を行うか)</p> <p>市営吉井住宅、および、市営国府関住宅の入居者に対して、将来的な市の住宅施策を説明し、個別に意向確認をしながら、他の市営住宅を含めた別の住宅に転居させる。 市営吉井住宅を解体し、用途廃止する。</p>
	<p>平成30年度の具体的な目標</p> <p>①吉井住宅居住2戸の移転の完了。 ②国府関住宅居住10戸の移転交渉の着手。 ③国府関住宅の用途廃止後の土地利用方針の確定。</p>	<p>平成30年度スケジュール</p> <p>①入居者と移転補償契約の締結と移転完了等確認の業務。 ②住民の意向に沿った転居用市営住宅の確保と、住宅の改修に関する業務委託及び管理等の業務。 ③国府関住宅の跡地利用と、借地および隣接住宅地の取扱い等、具体的に庁内協議を行う(事業化も検討)。</p>

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	7,992	10,686	10,558	2,341	6,992	6,991	45,521	0	0	0	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	38,800	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	7,992	10,686	10,558	2,341	6,992	6,991	6,721	0	0	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	市営吉井住宅用途廃止に伴う用地測量業務委託	0	0	0	平成29年に実施済み。
②	転居用市営住宅の補修	2,000	3,710	3,710	山崎住宅4戸、八幡原住宅1戸、長谷住宅1戸、東茂原住宅1戸を移転用住宅として改修を行った。
③	市営吉井住宅入居者屋内動産移転	341	509	509	2戸の入居者に対し移転補償契約を行い、年度内に移転完了を確認した。全ての入居者の移転完了。
④	市営吉井住宅解体工事	0	0	0	令和元年に実施予定。
⑤	市営国府関住宅入居者転居	0	2,598	2,597	10戸の入居者に対し移転補償契約を行い、年度内に移転完了を確認した。全ての入居者の移転完了。
⑥	アスベスト分析調査業務委託	0	175	175	解体工事を踏まえ、建物のアスベストの含有を確認した。
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		2,341	6,992	6,991	

平成30年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

- ・吉井住宅、及び国府関住宅入居者と移転補償契約を締結。
- ・吉井住宅2戸全ての移転完了、及び移転補償金の交付。
- ・国府関住宅の移転者用の市営住宅の改修を実施。
- ・国府関住宅10戸全ての移転完了、及び移転補償金の交付。
- ・国府関住宅の跡地利用、借地、隣接住宅地の取扱いについて、庁内協議を実施。

DO
(実施)

平成30年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	06	01	03	三世帯同居等支援事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	04	01	03	安全安心な住宅の促進(三世帯同居等支援事業)

実施計画整理番号	
306010301	
総合戦略整理番号	31101

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	親世帯または子世帯の一方が転入し、三世帯(親・子・孫)で同居・近居をする世帯に住宅取得等の費用の一部を補助することにより、生活基盤の安定による移住・定住を促進する。また、助成の上乗せ支援による地元企業の利用促進も図る。	住宅取得等の費用の1/2を助成する。 ただし、助成額の上限は次のとおり。 新築・購入は上限80万円(市内業者が行う場合は上限100万円) 増築は上限30万円(市内業者が行う場合は上限50万円)
	平成30年度の具体的な目標	平成30年度スケジュール
転入者が転出者を上回る社会増を目指し、移住定住促進により、若年層の転出抑制および転入促進を図る	申請期間:平成30年4月2日～平成31年2月末 周知方法:広報誌、ホームページ、JR電車内へ掲載、自治会回覧、及び関係団体や住宅展示場へ配布等	

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	10,000	10,000	5,800	10,000	5,200	3,200	7,000	0	0	7,000	0	0	
財源内訳	国補助	千円	5,000	5,000	2,396	5,000	1,125	1,440	3,150	0	0	3,150	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	5,000	5,000	3,404	5,000	4,075	1,760	3,850	0	0	3,850	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	住宅取得等の費用補助	10,000	5,200	3,200	内訳は新築4件、購入0件、増築0件の計4件(市外からの転入者は15人)、事業は継続していく
②		0	0	0	
③		0	0	0	
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		10,000	5,200	3,200	

平成30年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
<ul style="list-style-type: none"> 申請者がフラット35と併用することでの金利優遇措置を行った(4件中2件) 新築4件、購入0件、増築0件の計4件に対して総額320万円の補助金を交付した 国からの交付金は144万円であった

DO (実施)

平成30年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	306010102
3	06	01	01	市営住宅集約化事業	7	04	01	04	市営住宅集約化事業	

CHECK (評価)	30年度活動指標(アウトプット)の達成状況				30年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	吉井住宅2戸及び国府関住宅10戸の移転を全て完了。7戸の市営住宅を移転用に改修した。				建物の解体、用途廃止に向けて入居者全ての移転を完了した。吉井住宅においては、次年度、解体工事を実施することとなるが、国府関住宅においては、跡地利用の協議がまとまっていない。			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由			
	A:妥当である	総合計画及び公共施設等総合管理計画に合致する。	A:有効である	用途廃止に向けた前段事業として入居者移転が完了した為、次の作業に入ることができる。	A:効率的である	老朽化し利用率の低い施設を早急に用途廃止すれば、維持管理費に費やす経費の縮減に繋がる。		
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由			
	その他	情報提供する必要性について検討する。	C:実現の余地がない	そぐわないと考える。	C:実現の余地がない	そぐわないと考える。		
	所管による評価とその理由、課題・問題点							
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	市営住宅の集約化に向けて、入居者の移転が完了したため、十分な成果を挙げていると認められる。吉井住宅は解体工事を実施することとなるが、国府関住宅においては、跡地利用の方針がまだ決定していない点が課題である。							
企画政策課での評価とその理由								
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	入居者の移転が順調に完了し、十分な成果があったものと認められる。引き続き、計画的な事業の推進に努めるものとする。							
政策調整会議での評価とその理由								
庁議における方針								

ACT (改善)	令和元年度活動指標(アウトプット)の設定				令和元年度成果指標(アウトカム)の設定			
	<ul style="list-style-type: none"> ・吉井住宅の用途廃止の実施。 ・国府関住宅の跡地利用について協議、方針を決定する。 				<ul style="list-style-type: none"> ・吉井住宅の用途廃止の完了。 ・国府関住宅の跡地利用の跡地利用に対する方針の有無。 			
令和元年度における具体的な目標				令和元年度における事務事業スケジュール				
<ul style="list-style-type: none"> ・吉井住宅の解体工事、不動産鑑定、条例改正の完了。 ・国府関住宅の跡地利用について、関係部署との協議、方針を決定する。 ・入居者が居ない為、土地・建物の巡回等、適切な管理。 				(吉井住宅) <ul style="list-style-type: none"> ・解体工事の実施、側溝管理用地の測量、分筆、境界杭の設置。 ・設置条例の改正及び不動産鑑定を実施し、用途廃止(移管)。 (国府関住宅) <ul style="list-style-type: none"> ・跡地利用について、利活用の調査担当課と協議を実施する。 				

平成30年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	06	01	02	木造住宅耐震化促進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	03	01	10	木造住宅耐震化促進事業

実施計画整理番号	
306010201	
総合戦略整理番号	0

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	耐震性の低い木造住宅の耐震性を向上し、住民の生命、財産の保護に寄与する。	耐震性の低い木造住宅の所有者等に対し耐震相談を行い、耐震診断、耐震改修にかかる費用の一部を補助する。
	平成30年度の具体的な目標	平成30年度スケジュール
	平成30年5月から12月までの期間、耐震診断費補助金、耐震改修費補助金の受付を行う。その期間中に毎月1回の無料耐震相談会を行い相談会→補助金の申し込みを並行して行い、耐震化率の向上につながる耐震改修工事を1件でも多くやっていただけるよう啓発を図る。	相談会：1回平成30年5月25日(金)、2回平成30年6月24日(日)、3回平成30年7月31日(火)、4回平成30年8月26日(日)、5回平成30年9月28日(金)、6回平成30年10月28日(日)、7回11月30日(金)以上7回開催(各回、耐震診断士2名を派遣)産業まつり：平成30年11月3日(金)耐震相談ブースを出店、相談会等の周知：広報誌への掲載、HPへの掲載、自治会回覧、地元情報誌への掲載、チラシのカラー化

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	4,333	4,333	2,104	4,333	4,527	1,657	2,663	0	0	2,625	0	0	
財源内訳	国補助	千円	1,966	1,966	857	1,966	2,063	688	1,231	0	0	1,212	0	0
	県補助	千円	733	733	350	733	781	291	390	0	0	381	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	1,634	1,634	897	1,634	1,683	678	1,042	0	0	1,032	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	無料耐震相談会の開催	133	327	327	計画通り耐震相談会を7回、計24組受付。次年度も継続して行いたい。
②	耐震診断費用の助成	1,200	1,200	830	耐震診断費の補助を7件に交付。次年度は周知を工夫し予算上限まで実施したい。
③	耐震改修費用の助成	3,000	3,000	500	耐震改修費の補助を1件に交付。次年度は周知を工夫し予算上限まで実施したい。
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		4,333	4,527	1,657	

平成30年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
<p>耐震相談会：昨年度のキャンセル待ち増加に伴い、相談会を2回増回した。全ての相談会は満席。周知の工夫がよかった。チラシのカラー化、産業まつりブース出店、不動産情報誌・広報・HPへの掲載、自治会回覧の活用。</p> <p>耐震診断費補助：診断費の補助額を増額して2年目。予算額10件に対し7件の受付。</p> <p>耐震改修費補助：予算件数5件に対し、1件の補助金交付。</p>

DO (実施)

平成30年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	306010201
3	06	01	02	木造住宅耐震化促進事業	7	03	01	10	木造住宅耐震化促進事業	

CHECK (評価)	30年度活動指標(アウトプット)の達成状況				30年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	耐震相談会を7回実施(年間相談組数上限28件) 産業まつりブース出店 耐震診断補助金利用者 7件 耐震改修補助金利用者 2件				市内建築物耐震化率83.99%			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由			
	A:妥当である	頻発する地震に対する耐震化率の向上を目指し、行政が市内建築物の耐震化を支援する必要がある。	A:有効である	耐震補助対象建築物の所有者が高齢化しており、高額な耐震改修費用の捻出を補助する制度は他にない。	A:効率的である	耐震相談→耐震診断→耐震改修→という流れは効率的であり、耐震啓発という市民ニーズを満たしている。		
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由			
	A:実現している	広報誌、回覧、情報誌、ホームページ、産業まつりブース出店を行い、市民の目につきやすいところで積極的な周知活動を展開。	A:実現している	窓口では、いつでも補助金の相談を受付けており、相談会では参加者アンケートを実施。施策に意見を取り入れる機会を設けている。	A:実現している	個人情報を含んでおり、行政のみでしか実施できない。		
所管による評価とその理由、課題・問題点								
B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)		耐震相談会を計画通り年7回開催し、相談は上限の28組受付。相談組数は平成29年度より8組の増加。耐震改修の入口となる耐震診断費補助金は、昨年より3組減の7組に交付。耐震改修費補助金は、昨年より1組減の1組に交付した。耐震相談会の相談者は多かったが、改修ではなく再建築や減築を選択した相談者もあった。						
企画政策課での評価とその理由								
B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)		耐震相談会に多くの相談者が参加し、一定の成果があったものと認められる。一方、補助金利用者は減少しているため、耐震化率向上のため方策を検討するものとする。						
政策調整会議での評価とその理由								
庁議における方針								

A C T (改善)	令和元年度活動指標(アウトプット)の設定				令和元年度成果指標(アウトカム)の設定			
	耐震相談会を3回実施(年間相談組数上限12件) 産業まつりブース出店 耐震診断補助金利用者 5件 耐震改修補助金利用者 2件				市内建築物耐震化率84.40%(平成30年度耐震化率83.99%)			
令和元年度における具体的な目標				令和元年度における事務事業スケジュール				
相談会:1回令和元年5月31日(金)、2回令和元年6月23日(日)、3回令和元年9月27日(金)以上3回開催(各回、耐震診断士2名を派遣)産業まつり:令和元年11月3日(日)耐震相談ブースを出店、相談会等の周知:広報誌への掲載、HPへの掲載、チラシの每户配布、耐震診断補助5件、耐震改修補助2件の交付				令和元年5月から12月までの期間、耐震診断費補助金、耐震改修費補助金の受付を行う。その期間中、全3回の無料耐震相談会を行い、相談会→補助金の申し込みを案内。耐震化率の向上につながる耐震改修工事を1件でも多くやっていただけるよう啓発を図る。				

平成30年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	306010301
3	06	01	03	三世代同居等支援事業	7	04	01	03	安全安心な住宅の促進(三世代同居等支援事業)	

CHECK (評価)	30年度活動指標(アウトプット)の達成状況					30年度成果指標(アウトカム)の達成状況									
	支援件数: 4件(内訳は新築4件、増築0件、購入0件)					人口社会増減(転入数-転出数): 3,498-3,451=47人増 本事業による市外からの転入者合計は15人									
	妥当性の評価とその理由			有効性の評価とその理由			効率性の評価とその理由								
	A: 妥当である		移住・定住を促進することで、安定的な税収の確保と地域活性の一助となっている			A: 有効である		補助金の存在により、茂原市で住宅取得するきっかけになる			C: あまり効率的ではない		移住については申請者世帯の長期的な計画を伴うため、制度設計と実績に時間差が出てしまう		
	「情報の共有」の状況とその理由					「参加」の状況とその理由					「協働」の状況とその理由				
	A: 実現している		広報紙、茂原市Webサイト、食品スーパー、東日本旅客鉄道の電車内への広告掲載、自治会回覧、関係団体・住宅展示場へ広告の配布を行っている			C: 実現の余地がない		行政のみでしか実施できない			C: 実現の余地がない		行政のみでしか実施できない		
	所管による評価とその理由、課題・問題点														
	B: ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)		移住・定住を促進することで、安定的な税収の確保と地域活性の一助となった。事業執行率は予算規模で61.54%であった。市内と市外の異なるターゲットへの周知、啓発方法に更なる工夫が必要である。また、財源確保(歳入国費)に不安定な状態が続いている。												
	企画政策課での評価とその理由														
	B: ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)		移住・定住促進に一定の成果があったものと認められる。支援件数が低調であるため、効果的な周知に努めるものとする。												
政策調整会議での評価とその理由															
庁議における方針															

ACT (改善)	令和元年度活動指標(アウトプット)の設定					令和元年度成果指標(アウトカム)の設定				
	支援件数: 7件					市外からの転入者数: 21人				
令和元年度における具体的な目標					令和元年度における事務事業スケジュール					
移住・定住促進により若年層の転出抑制及び転入促進を図り、更なる人口増加を目指す。					申請期間: 平成31年4月2日~令和2年2月末 周知方法: 広報紙、茂原市Webサイト、東日本旅客鉄道の電車内への広告掲載、自治会回覧、関係団体・住宅展示場への広告配布 等					

平成30年度 事務事業整理シート

基本計画			
章	節	項	細
実施計画事業名			
3	07	02	01
ごみ排出適正化事業			

予算科目			
款	項	目	事
事業名			
4	02	01	02
ごみ排出適正化事業			

実施計画整理番号	
307020101	
総合戦略整理番号	0

P L A N (計 画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	不法投棄を未然に防止するとともに不法投棄されたごみについては適正に処理することを目標とする。	<ul style="list-style-type: none"> 職員及び不法投棄監視委員による随時パトロール ごみ集積所表示看板及び不法投棄防止警告看板の配布 千葉県環境衛生促進協議会への参加
	平成30年度の具体的な目標	平成30年度スケジュール
<ul style="list-style-type: none"> ごみ収集カレンダーを各世帯に配布し、排出方法の徹底に努める。 「ごみ集積所表示看板」、「不法投棄防止警告看板」等を配布する。 千葉県環境衛生促進協議会(第4支部)への参加。 不法投棄監視員(20名)によるパトロールの実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 「ごみと資源の分け方・出し方」の収集カレンダーの配布(3月) 「ごみ集積所表示看板」、「不法投棄防止警告看板」等の配布(通年) 千葉県環境衛生促進協議会(第4支部)への参加。 不法投棄監視員(20名)による市内パトロール(通年) 	

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	2,039	2,039	1,832	2,142	2,151	2,072	2,167	0	0	2,259	0	0	
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県補助	千円	444	444	444	444	444	444	444	0	0	444	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	7	7	7	7	7	0	8	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	1,588	1,588	1,381	1,691	1,700	1,628	1,715	0	0	1,815	0	0

D O (実 施)	個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
			計画	予算	決算	
	①	ごみ集積所表示看板及び不法投棄防止警告看板の配布	224	223	188	概ね達成できた。引き続き実施する。
	②	千葉県環境衛生促進協議会への参加	50	50	50	概ね達成できた。引き続き実施する。
	③	不法投棄物の回収及び処理	859	899	856	概ね達成できた。引き続き実施する。
	④	不法投棄監視員の配置	1,009	980	978	概ね達成できた。引き続き実施する。
	⑤		0	0	0	
	⑥		0	0	0	
	⑦		0	0	0	
	⑧		0	0	0	
	⑨		0	0	0	
	⑩		0	0	0	
事業費計		2,142	2,151	2,072		

平成30年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

- 「ごみと資源の分け方・出し方」の収集カレンダーを各世帯に配布し、ごみの排出方法の徹底に努めた。
- 自治会等に「ごみ集積所表示看板」、「不法投棄防止警告看板」等を配布した。
- 千葉県環境衛生促進協議会(第4支部)への参加。
- 不法投棄監視員(20名)による市内パトロールの実施。

平成30年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	307020101
3	07	02	01	ごみ排出適正化事業	4	02	01	02	ごみ排出適正化事業	

CHECK (評価)	30年度活動指標(アウトプット)の達成状況				30年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	・パトロールの実施回数(不法投棄監視員1037回) ・不法投棄防止警告看板の配布数(44枚)				不法投棄監視員からの報告件数(81件)			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由			
	A:妥当である	ごみの排出方法の周知徹底を図るとともに不法投棄の未然防止に努めた。	A:有効である	不法投棄された家電等は迅速に回収し、適正に処理した。	A:効率的である	不法投棄監視員のパトロールの実施により早期発見、早期対応、未然防止に繋がっている。		
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由			
	A:実現している	不法投棄監視員には毎月の報告書の提出をお願いし、情報共有している。	A:実現している	市民である不法投棄監視員と連携し取り組んだ。	A:実現している	市民である不法投棄監視員と連携し取り組んだ。		
	所管による評価とその理由、課題・問題点							
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	家電等の小規模な不法投棄は依然として散見されるものの、大規模な不法投棄は発生していないことから、一定の成果をあげているものと考えている。							
企画政策課での評価とその理由								
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	パトロールを多く実施している中で、報告件数が減少しており、これまでの取り組みに成果があったものと認められる。引き続き、関係機関と連携して不法投棄の未然防止に努めるとともに、市民に対し適切なごみの排出方法の周知徹底を図るものとする。							
政策調整会議での評価とその理由								
庁議における方針								

ACT (改善)	令和元年度活動指標(アウトプット)の設定				令和元年度成果指標(アウトカム)の設定			
	・パトロールの実施回数 ・看板の配布数				・不法投棄の報告件数			
令和元年度における具体的な目標				令和元年度における事務事業スケジュール				
・ごみ収集カレンダーを各世帯に配布し、排出方法の徹底に努める。 ・「ごみ集積所表示看板」、「不法投棄防止警告看板」等を配布する。 ・千葉県環境衛生促進協議会(第4支部)への参加。 ・不法投棄監視員(20名)によるパトロールの実施。				・「ゴミと資源の分け方・出し方」の収集カレンダーの配付(3月)。 ・「ごみ集積所表示看板」、「不法投棄防止警告看板」等の配付(通年)。 ・千葉県環境衛生促進協議会(第4支部)への参加。 ・不法投棄監視員(20名)による市内パトロール(通年)。				

平成30年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	07	02	02	3R推進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	02	01	03	3R推進事業

実施計画整理番号	
307020201	
総合戦略整理番号	0

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	3Rの推進により循環型社会の形成を目標とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・リサイクル推進委員会への活動支援 ・市民団体へのリサイクル報奨金の交付によるリサイクルの推進 ・生ごみ堆肥化容器の助成販売 ・生ごみ処理機の購入費の補助
	平成30年度の具体的な目標	平成30年度スケジュール
	<ul style="list-style-type: none"> ・直営による公共施設等の資源ごみの回収 ・自治会等の資源ごみ回収量に応じた報償金の交付 ・リサイクル推進委員会に補助金を交付するなど活動の支援 ・生ごみ堆肥化容器の助成販売と生ごみ処理機購入費補助制度を実施し生ごみの減量化に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設等の資源ごみの回収(通年) ・リサイクル報償金の交付(9月・3月) ・リサイクル推進委員会の運営 ・生ごみ堆肥化容器の助成販売と生ごみ処理機購入費補助金の交付(通年)

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	6,909	6,909	5,974	7,082	6,332	5,445	5,922	0	0	5,933	0	0	
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	353	353	288	353	283	223	283	0	0	283	0	0
	一般財源	千円	6,556	6,556	5,686	6,729	6,049	5,222	5,639	0	0	5,650	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	資源ゴミの回収	1,743	1,264	960	概ね達成できた。引き続き実施する。
②	資源ゴミ回収報償金の交付	3,527	3,256	2,804	概ね達成できた。引き続き実施する。
③	リサイクル推進委員会の活動支援	1,116	1,116	1,116	概ね達成できた。引き続き実施する。
④	生ごみ堆肥化容器の助成販売	426	426	423	概ね達成できた。引き続き実施する。
⑤	生ごみ処理機の購入費助成	270	270	142	概ね達成できた。引き続き実施する。
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		7,082	6,332	5,445	

平成30年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
<ul style="list-style-type: none"> ・直営による公共施設等の資源ごみ回収を行った。(通年) ・自治会等の資源ごみ回収量に応じて報償金を交付した。(9月、3月) ・リサイクル推進委員会に補助金を交付するなど活動を支援した。 ・生ごみ堆肥化容器の助成販売と生ごみ処理機購入費補助制度を実施することで生ごみの減量化に努めた。(通年)

DO (実施)

平成30年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	07	02	02	3R推進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	02	01	03	3R推進事業

整理番号
307020201

30年度活動指標(アウトプット)の達成状況 ・リサイクル報奨金の交付件数(261件) ・リサイクル推進委員会への助成(1,116千円)	30年度成果指標(アウトカム)の達成状況 ・資源ごみの回収量(3,486t) 前年比△257t ・生ごみ堆肥化容器の助成販売数(75基) 前年比+3基 ・生ごみ処理機購入費補助件数(9基) 前年比△6基	
妥当性の評価とその理由 A:妥当である 市民団体等の理解と協力のもと、リサイクルの推進が図られた。	有効性の評価とその理由 B:やや有効である スーパー等による民間のリサイクル回収ルートが普及したことなどにより収集量が減少傾向にある。	効率性の評価とその理由 A:効率的である 生ごみの減量化には生ごみ処理機や堆肥化容器の活用が有効な手段である。
「情報の共有」の状況とその理由 B:実現に向けて取り組んでいる 広報紙や市ウェブサイト等で生ごみ処理機や堆肥化容器の周知を図っているが、今後更なる普及啓発が必要である。	「参加」の状況とその理由 A:実現している リサイクル推進委員会と連携しながら取り組んだ。	「協働」の状況とその理由 A:実現している リサイクル推進委員会と連携しながら取り組んだ。
所管による評価とその理由、課題・問題点 A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上) 循環型社会の形成を目指して「3R」の推進に努めるとともに、リサイクル推進委員会との連携を通じて地域のリサイクル向上に努めた。		
企画政策課での評価とその理由 A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上) 各種取組により、循環型社会の形成に一定の成果が認められる。今後も関係団体と連携し、3Rの推進に努めるものとする。		
政策調整会議での評価とその理由 (Blank)		
庁議における方針 (Blank)		

令和元年度活動指標(アウトプット)の設定 ・リサイクル報奨金の交付件数 ・リサイクル推進委員会への助成	令和元年度成果指標(アウトカム)の設定 ・資源ごみ回収量 ・生ごみ堆肥化容器の助成販売数 ・生ごみ処理機購入費補助件数
令和元年度における具体的な目標 ・公共施設等の資源ごみの回収(通年) ・リサイクル報奨金の交付(9月、3月) ・リサイクル推進委員会の運営 ・生ごみ堆肥化容器の助成販売と生ごみ処理機購入費補助金の交付(通年)	令和元年度における事務事業スケジュール ・直営による公共施設等の資源ごみの回収 ・自治会等の資源ごみ回収量に応じた報奨金の交付 ・リサイクル推進委員会に助成販売と生ごみ処理機購入費補助制度を実施し生ごみの減量化に努める。

CHECK(評価)

ACT(改善)

平成30年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	07	04	01	美化推進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	01	06	01	美化推進事業

実施計画整理番号	
307040101	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要	
P L A N (計 画)	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか) きれいで住みよい環境づくりを進めるため、啓発活動を通して、市民の協力のもと美化活動を推進する。
	活動内容(目的を達成するために何を行うか) ・地域の環境美化活動の推進 ・空き地に係る雑草等の除去に関する条例に基づく指導 ・自治会への草刈機の貸出 ・ポイ捨て防止条例に基づく啓発 ・広報紙、パンフレット等による啓発活動 ・ゴミゼロ運動の実施
	平成30年度の具体的な目標 ・地域の環境美化活動に対しゴミ袋の提供や回収を行う。 ・空き地に係る雑草等の除去に関する指導を行う。 ・自治会等への草刈機の適切な貸し出し。 ・ゴミゼロ運動実施(5月27日)
	平成30年度スケジュール ・地域の環境美化活動の推進(通年) ・空き地に係る雑草等の除去に関する指導(通年) ・自治会への草刈機の貸し出し(通年) ・ポイ捨て防止の啓発(広報5月号、桜まつり、七夕まつり) ・ゴミゼロ運動(5月)

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	893	893	884	893	990	981	1,017	0	0	1,021	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	893	893	884	893	990	981	1,017	0	0	1,021	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	地域の環境美化活動の推進	149	149	198	概ね達成できた。引き続き推進を図る。
②	空き地に係る雑草等の除去に関する指導	8	8	6	概ね達成できた。引き続き指導を行う。
③	自治会への草刈機の貸し出し	95	160	152	概ね達成できた。引き続き貸し出しを行う。
④	ポイ捨て防止の啓発	67	67	72	概ね達成できた。引き続き啓発を行う。
⑤	ゴミゼロ運動の実施	574	606	553	概ね達成できた。引き続き実施する。
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		893	990	981	

平成30年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

- ・地域の環境美化を推進するため、自治会等の地域清掃に対しゴミ袋の配付や回収を行った。
- ・空き地に係る雑草等の除去に関する指導を行った。(指導件数257件)
- ・地域の環境美化を推進するため、自治会等に草刈機の貸し出しを行った。(延べ154台)
- ・ポイ捨て防止条例に基づく啓発として、桜まつりや七夕まつり会場内において啓発物品の配付を行った。
- ・5月27日にゴミゼロ運動を実施した。参加者数12,345名、回収量17.04t)

D
O
(
実
施
)

平成30年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	307040101
3	07	04	01	美化推進事業	4	01	06	01	美化推進事業	

CHECK (評価)	30年度活動指標(アウトプット)の達成状況				30年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	<ul style="list-style-type: none"> ・啓発回数(街頭啓発2回) ・ゴミゼロ運動の開催回数(1回) ・草刈機貸出回数(154台) 				<ul style="list-style-type: none"> ・参加者数(ゴミゼロ運動市内全域12,345名)前年比+159名 ・ごみ回収量(ゴミゼロ運動17.04t)前年比△0.58t ・地域清掃等の実施数(161回) 			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由			
	A:妥当である	市民の協力のもと美化活動の推進に努めた。	A:有効である	ゴミゼロ運動や自主的な清掃活動の奨励を図り、地域ぐるみの美化活動を推進した。	B:やや効率的である	ポイ捨て防止は行為者の意識改革が必要であり、根気強く取り組む必要がある。		
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由			
	A:実現している	ゴミゼロ運動では、自治会等各種団体や参加企業と情報を共有している。	A:実現している	ゴミゼロ運動には市内全域で12,345名の参加があった。	A:実現している	地域清掃時にごみ袋の提供及び回収を行い、市民との協働による環境美化を図った。		
	所管による評価とその理由、課題・問題点							
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	市民との協働による美化活動の推進という観点からは一定の成果を挙げたと考えている。ポイ捨て防止及び空き地の雑草除去については引き続き啓発に努める。							
企画政策課での評価とその理由								
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	各種取組により、美化活動の推進に成果があったものと認められる。引き続き、ポイ捨て防止及び空き地の雑草除去について啓発に努めるものとする。							
政策調整会議での評価とその理由								
庁議における方針								

ACT (改善)	令和元年度活動指標(アウトプット)の設定				令和元年度成果指標(アウトカム)の設定			
	<ul style="list-style-type: none"> ・啓発回数 ・ゴミゼロ運動の開催回数 ・草刈機貸出回数 				<ul style="list-style-type: none"> ・参加者数 ・地域清掃等の実施数 ・ごみ回収量 			
令和元年度における具体的な目標				令和元年度における事務事業スケジュール				
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の環境美化活動の推進(通年) ・空き地に係る雑草等の除去に関する指導(通年) ・自治会等への草刈機の貸し出し(通年) ・ポイ捨て防止の啓発(広報5月号、桜まつり、七夕まつり) ・ゴミゼロ運動(5月) 				<ul style="list-style-type: none"> ・地域の環境美化活動に対しごみ袋の提供や回数を行う。 ・空き地に係る雑草等の除去に関する指導を行う。 ・自治会への草刈機の適切な貸し出し。 ・ゴミゼロ運動実施(5月27日) 				

平成30年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	07	04	01	害虫防除対策事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	01	05	02	害虫防除対策事業

実施計画整理番号	
307040102	
総合戦略整理番号	0

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	自転車歩行者道路(豊田川、一宮川)沿いの桜の木の害虫駆除、自治会等への消毒機の貸出や衛生指導を行い、適正な環境づくりを目標とする。	・自転車歩行者道路(豊田川、一宮川)沿いの桜の木の害虫駆除 ・自治会等への消毒機の貸出 ・公共施設の蜂の巣駆除
	平成30年度の具体的な目標	平成30年度スケジュール
・豊田川、一宮川沿いの自転車歩行者道路脇の桜の害虫駆除を年2回実施する。 ・自治会等へ消毒機の貸し出しを行う。 ・公共施設の蜂の巣の駆除を実施する。	・自転車歩行者道路脇の桜の害虫駆除(5月・9月) ・自治会等への消毒機の貸し出し(通年) ・公共施設の蜂の巣の駆除(通年)	

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	722	722	707	722	722	699	764	0	0	778	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	722	722	707	722	722	699	764	0	0	778	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	自転車歩行者道路脇の桜の害虫駆除	648	648	648	害虫の発生する5月と9月に消毒を実施し、生活環境の保全を図った。引き続き実施する。
②	自治会等への消毒機の貸出	54	54	51	概ね達成できた。引き続き貸出しを行う。
③	公共施設の蜂の巣駆除	20	20	0	概ね達成できた。引き続き実施する。
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		722	722	699	

平成30年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

- ・豊田川、一宮川沿いの自転車歩行者道路脇の桜の害虫防除を年2回(5月、9月)実施した。
- ・自治会等へ消毒機の貸し出しを行った。(通年)

DO (実施)

平成30年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	307040102
3	07	04	01	害虫防除対策事業	4	01	05	02	害虫防除対策事業	

CHECK (評価)	30年度活動指標(アウトプット)の達成状況				30年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	<ul style="list-style-type: none"> 害虫の駆除回数(2回) 消毒機の貸し出し数(延べ43台、8団体) 				害虫駆除実施箇所数(酒盛橋から日進橋区間及び大芝地先)			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由			
	A:妥当である	豊田川、一宮川沿いの桜の木は、観光資源として引き続き市が管理していく必要がある。	A:有効である	害虫の発生を抑制し、生活環境の保全を図る。	A:効率的である	害虫駆除は業務委託により効率的に行われている。		
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由			
	A:実現している	桜の木の害虫駆除については、自治会回覧により周辺住民への周知を図った。	C:実現の余地がない	桜の害虫駆除は、特殊作業のため業者委託しており、市民参加の機会は提供していない。	A:実現している	自治会等に消毒機の貸し出しをおこなうことにより、協働による生活環境の保全に努めた。		
	所管による評価とその理由、課題・問題点							
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	害虫の発生を抑制し、十分な成果をあげることができた。						
	企画政策課での評価とその理由							
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	害虫防除の各取り組みにより、適正な環境づくりに成果が認められる。引き続き、実施するとともに、自治会等への貸し出しについて周知を図るなど、市民と協働して生活環境の保全に努めるものとする。						
政策調整会議での評価とその理由								
庁議における方針								

ACT (改善)	令和元年度活動指標(アウトプット)の設定				令和元年度成果指標(アウトカム)の設定			
	<ul style="list-style-type: none"> 害虫の駆除回数 消毒機の貸し出し数 				<ul style="list-style-type: none"> 実施箇所数 			
令和元年度における具体的な目標				令和元年度における事務事業スケジュール				
<ul style="list-style-type: none"> 自転車歩行者道路脇の桜の害虫駆除(5月、9月) 自治会等への消毒機の貸し出し(通年) 公共施設の蜂の巣の駆除(通年) 				<ul style="list-style-type: none"> 豊田川、一宮川沿いの自転車歩行者道路脇の桜の害虫駆除を年2回実施する。 自治会等へ消毒機の貸し出しを行う。 公共施設の蜂の巣の駆除を実施する。 				

平成30年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	07	05	01	環境保全対策事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	01	07	01	環境保全対策事業

実施計画整理番号	
307050101	
総合戦略整理番号	0

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	水質汚濁、土壌汚染などの公害防止と発生時の迅速な対応ができるよう、監視機器の整備を図って調査を実施し、また事業者の自主監視を推進するなど監視体制の充実に努めるとともに、自動車交通騒音の常時監視を行うことにより地域の騒音曝露状況を把握する。	公共用水域、地下水の水質保全及び土壌汚染防止のため、検査、監視する。騒音規制法第18条第1項に基づき、茂原市内における主要幹線道路を対象とし、自動車騒音状況の常時監視を実施する。
	平成30年度の具体的な目標	平成30年度スケジュール
水質検査・土壌検査・自動車騒音の常時監視を実施する。	河川水質検査 7・10・1月 地下水水質検査 11月 工場排水水質検査 1月 道路交通騒音常時監視 10月	

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	1,066	1,011	819	1,066	1,118	913	1,026	0	0	1,026	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	1,066	1,011	819	1,066	1,118	913	1,026	0	0	1,026	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	水質・土壌検査の実施	742	705	518	概ね達成できた。引き続き実施する。
②	騒音常時監視測定の実施	324	413	395	概ね達成できた。引き続き実施する。
③		0	0	0	
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		1,066	1,118	913	

平成30年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

- ・河川水・地下水・工場排水及び土壌分析委託 518,059円
河川水19ヶ所(年1~3回):BODが2ヶ所で超過しているほかは環境基準を充たしている。
地下水20ヶ所:民間井戸1ヶ所で環境基準を超過していた。
工場排水4ヶ所:排水基準を充たしていた。
- ・道路交通騒音常時監視測定委託 395,280円 一般国道128号区間番号17110-1(茂原市茂原)・区間番号17110-2(茂原市大芝)
評価区間全体、非近接空間及び近接空間で昼間・夜間ともに環境基準以下。(基準値)昼間70dB 夜間65dB
(測定値)区間番号17110-1(茂原市茂原)昼間69dB 夜間64dB/区間番号17110-2(茂原市大芝)昼間68dB 夜間62dB

DO (実施)

平成30年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	07	05	01	環境保全対策事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	01	07	01	環境保全対策事業

整理番号
307050101

30年度活動指標(アウトプット)の達成状況	30年度成果指標(アウトカム)の達成状況						
河川水・地下水・工場排水及び土壌分析委託 河川水19ヶ所(年1～3回)、地下水20ヶ所、工場排水4ヶ所 道路交通騒音常時監視測定委託 一般国道128号区間番号17110-1(茂原市茂原) 区間番号17110-2(茂原市大芝)	河川水は2ヶ所でBODが超過しているほかは環境基準以下、地下水は民間井戸1ヶ所で環境基準を超過、工場排水は基準を充たしていた。 交通騒音は2地点の評価区間全体、非近接空間及び近接空間で昼間・夜間ともに環境基準以下であった。						
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">妥当性の評価とその理由</th> <th style="width: 33%;">有効性の評価とその理由</th> <th style="width: 33%;">効率性の評価とその理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> A:妥当である 公共用水域、地下水の水質保全及び土壌汚染防止のため検査監視をした。主要幹線道路を対象とし、自動車騒音状況の常時監視を実施した。 </td> <td> A:有効である 河川水質検査、地下水汚染の継続監視及び自動車騒音の常時監視により現状把握及び公害の未然発生防止に努めた。 </td> <td> A:効率的である 河川水・地下水・工場排水及び土壌分析委託、道路交通騒音常時監視測定委託により効率的に行った。 </td> </tr> </tbody> </table>		妥当性の評価とその理由	有効性の評価とその理由	効率性の評価とその理由	A:妥当である 公共用水域、地下水の水質保全及び土壌汚染防止のため検査監視をした。主要幹線道路を対象とし、自動車騒音状況の常時監視を実施した。	A:有効である 河川水質検査、地下水汚染の継続監視及び自動車騒音の常時監視により現状把握及び公害の未然発生防止に努めた。	A:効率的である 河川水・地下水・工場排水及び土壌分析委託、道路交通騒音常時監視測定委託により効率的に行った。
妥当性の評価とその理由	有効性の評価とその理由	効率性の評価とその理由					
A:妥当である 公共用水域、地下水の水質保全及び土壌汚染防止のため検査監視をした。主要幹線道路を対象とし、自動車騒音状況の常時監視を実施した。	A:有効である 河川水質検査、地下水汚染の継続監視及び自動車騒音の常時監視により現状把握及び公害の未然発生防止に努めた。	A:効率的である 河川水・地下水・工場排水及び土壌分析委託、道路交通騒音常時監視測定委託により効率的に行った。					
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">「情報の共有」の状況とその理由</th> <th style="width: 33%;">「参加」の状況とその理由</th> <th style="width: 33%;">「協働」の状況とその理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> A:実現している 河川水質結果については、広報及びホームページにて周知。道路交通騒音監視結果はホームページにて周知。 </td> <td> C:実現の余地がない </td> <td> C:実現の余地がない </td> </tr> </tbody> </table>		「情報の共有」の状況とその理由	「参加」の状況とその理由	「協働」の状況とその理由	A:実現している 河川水質結果については、広報及びホームページにて周知。道路交通騒音監視結果はホームページにて周知。	C:実現の余地がない	C:実現の余地がない
「情報の共有」の状況とその理由	「参加」の状況とその理由	「協働」の状況とその理由					
A:実現している 河川水質結果については、広報及びホームページにて周知。道路交通騒音監視結果はホームページにて周知。	C:実現の余地がない	C:実現の余地がない					
所管による評価とその理由、課題・問題点							
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td style="width: 15%;">A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)</td> <td>いずれの取組も結果を広報等で周知しており、公害の発生防止と市民の環境保全意識の向上に一定の成果を挙げている。</td> </tr> </tbody> </table>		A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	いずれの取組も結果を広報等で周知しており、公害の発生防止と市民の環境保全意識の向上に一定の成果を挙げている。				
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	いずれの取組も結果を広報等で周知しており、公害の発生防止と市民の環境保全意識の向上に一定の成果を挙げている。						
企画政策課での評価とその理由							
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td style="width: 15%;">A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)</td> <td>予定通り検査・測定を実施しており、目標を達成しているものと認められる。引き続き、実施することにより現状把握及び公害の未然防止を図るとともに、結果の周知を行うことにより、市民の環境保全意識の向上に努めるものとする。</td> </tr> </tbody> </table>		A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	予定通り検査・測定を実施しており、目標を達成しているものと認められる。引き続き、実施することにより現状把握及び公害の未然防止を図るとともに、結果の周知を行うことにより、市民の環境保全意識の向上に努めるものとする。				
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	予定通り検査・測定を実施しており、目標を達成しているものと認められる。引き続き、実施することにより現状把握及び公害の未然防止を図るとともに、結果の周知を行うことにより、市民の環境保全意識の向上に努めるものとする。						
政策調整会議での評価とその理由							
<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div>							
庁議における方針							
<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div>							

令和元年度活動指標(アウトプット)の設定	令和元年度成果指標(アウトカム)の設定				
調査の実施回数等	調査の実施結果				
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">令和元年度における具体的な目標</th> <th style="width: 50%;">令和元年度における事務事業スケジュール</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> 水質検査・土壌検査・自動車騒音の常時監視を実施する。 </td> <td> 河川水質検査 7・10・1月 地下水水質検査 11月 工場排水水質検査 1月 道路交通騒音常時監視 10月 </td> </tr> </tbody> </table>		令和元年度における具体的な目標	令和元年度における事務事業スケジュール	水質検査・土壌検査・自動車騒音の常時監視を実施する。	河川水質検査 7・10・1月 地下水水質検査 11月 工場排水水質検査 1月 道路交通騒音常時監視 10月
令和元年度における具体的な目標	令和元年度における事務事業スケジュール				
水質検査・土壌検査・自動車騒音の常時監視を実施する。	河川水質検査 7・10・1月 地下水水質検査 11月 工場排水水質検査 1月 道路交通騒音常時監視 10月				

CHECK (評価)

A C T (改善)

平成30年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	08	02	01	自主防災組織支援事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	13	02	自主防災組織支援事業

実施計画整理番号	
308020101	
総合戦略整理番号	0

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	自主防災組織に支援を行い、地域防災力の向上を図る。	新設自主防災会設立前には説明会を実施し、設立時には資機材を貸与する。既存自主防災会には、追加資機材の補助を行う。
	平成30年度の具体的な目標	平成30年度スケジュール
	<ul style="list-style-type: none"> 自主防災組織5団体の新規設立 自主防災組織設立に活動を行えていない組織の活性化 	<ul style="list-style-type: none"> 自治会長連合会総会において、自主防災組織設立案内チラシを配布(5月) 既存自主防災組織の資機材整備に対する補助事業(8月～) リーダー研修会の実施(2月) 新設した自主防災組織に資機材、戸別受信機を貸与(常時) 出前講座の実施(常時)

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	5,694	5,694	3,637	5,694	4,433	3,236	3,738	0	0	817	0	0	
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県補助	千円	2,650	2,650	1,610	2,650	1,987	1,417	1,757	0	0	0	0	
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	394	394	394	394	456	400	219	0	0	134	0	0
	一般財源	千円	2,650	2,650	1,633	2,650	1,990	1,419	1,762	0	0	683	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	自治会への設立説明	0	0	0	自治会長連合会の総会時や出前講座などで自主防災組織の啓発を行った。今後も周知を行っている。
②	防災資機材及び戸別受信機の購入	2,194	1,533	1,288	防災資機材は4団体に貸与し、今後も新設団体に貸与する。戸別受信機は5台購入し、4台を新設団体に貸与した。その他は、故障した場合の貸出用として保管している。
③	追加資機材購入への補助金	3,100	2,400	1,462	13団体に資機材整備のための補助金、2団体に倉庫設置の補助金を交付した。
④	リーダー育成研修会	400	500	486	千葉県災害対策コーディネーター養成講座を実施し、51名が修了した。今後も地域防災力の向上を目的に研修会を実施する。
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		5,694	4,433	3,236	

平成30年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
<ul style="list-style-type: none"> 自治会長連合会総会や出前講座の際に、自主防災組織設立及び防災対策に関する啓発を行った。 新設した自主防災組織に資機材及び戸別受信機を貸与した。また、資機材の保管のための倉庫設置に補助金を交付した。 地域防災力の向上のため、千葉県災害対策コーディネーター養成講座を実施した。 既存の自主防災組織の資機材整備に対する補助金の交付を行った。

DO (実施)

平成30年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	308020101
3	08	02	01	自主防災組織支援事業	2	01	13	02	自主防災組織支援事業	

CHECK (評価)	30年度活動指標(アウトプット)の達成状況				30年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	職員出前講座及び地域の防災訓練への支援を実施した。新規の自主防災組織が4団体設立され、防災資機材、戸別受信機を貸与した。既存の自主防災組織13団体に資機材購入のための補助金を交付した。				自主防災組織が86団体となった。職員出前講座を13回実施し、地域の防災訓練への支援を行った。自主防災組織はカバー率は61.03%(平成31年4月1日時点)となった。			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由			
	A:妥当である	自主防災組織の設立、活動の活性化は地域防災力の向上に大きく寄与する。	A:有効である	設立に際して資機材と戸別受信機の貸与を行うことで、活動する助けとなる。	B:やや効率的である	地域防災力の向上のため、活動のための資機材の貸与及び資機材購入の補助について県補助金を活用し実施している。		
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由			
	A:実現している	自治会長連合会総会時やホームページにて情報発信を行っている。	A:実現している	自主防災組織は、市民が自ら考え、設立するものであるため。	A:実現している	自主防災組織を設立や活動に際し、資機材の貸与や購入の補助を行っている。		
	所管による評価とその理由、課題・問題点							
B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	新規に4団体の自主防災組織が設立された。既存自主防災組織の資機材整備に対する補助金を13団体が活用し資機材の整備を行い、資機材の保管場所の倉庫設置への補助金を2団体が活用した。これにより地域防災力が向上した。課題については、自主防災組織の設立については各自治会等の意欲によるところが大きいことである。また、設立される自主防災組織がある一方で、設立しても活動が行えていない組織もあるため、活性化が必要である。							
企画政策課での評価とその理由								
B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	自主防災組織の設立後の活動について、リーダー育成や講座の実施、補助金の周知等に努めるなど活動を支援し、地域防災力の向上を図るものとする。							
政策調整会議での評価とその理由								
庁議における方針								

ACT (改善)	令和元年度活動指標(アウトプット)の設定				令和元年度成果指標(アウトカム)の設定			
	<ul style="list-style-type: none"> ・資機材、戸別受信機の貸与数 ・職員出前講座の実施 				<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織カバー率 			
令和元年度における具体的な目標				令和元年度における事務事業スケジュール				
<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織5団体の新規設立 ・活動を行えていない自主防災組織の活性化 ・研修会開催による地域のリーダー育成 ・自主防災組織連絡会議開催による情報交換 				<ul style="list-style-type: none"> ・自治会長連合会総会において、自主防災組織設立案内チラシを配布(5月) ・既存自主防災組織の資機材整備に対する補助事業(8月~) ・リーダー研修会の開催(1月) ・自主防災組織連絡会議の開催(3月) ・新設した自主防災組織に資機材、戸別受信機を貸与(随時) ・出前講座の実施(随時) 				

平成30年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	08	02	01	地域支え合い体制づくり事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
3	01	01	07	地域支え合い体制づくり事業

実施計画整理番号	
308020102	
総合戦略整理番号	0

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	<p>茂原市避難行動要支援者避難支援プラン【全体計画】に基づき、避難行動要支援者の避難支援、安否確認等を実施するための基礎となる避難行動要支援者名簿を作成する。また、避難支援の実施に必要な限度で名簿を避難支援等関係者に提供する。避難支援を必要とする者の個別計画を作成する。</p>	<p>避難行動要支援者名簿を作成するために関係機関から情報収集を行う。適切な情報管理に努める。</p>
	平成30年度の具体的な目標	平成30年度スケジュール
<p>要配慮者を把握して避難行動要支援者名簿を作成し、定期的に更新する。 避難行動要支援者名簿を避難支援等関係者に適切に提供する。 避難支援登録制度を活用して避難支援を必要とする者の個別計画を作成する。</p>	<p>避難行動要支援者名簿の定期的(年6回:5月、7月、9月、11月、1月、3月)な更新を行う。 避難支援登録制度を活用して個別計画を随時作成する。</p>	

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	195	195	194	195	195	194	197	0	0	198	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	195	195	194	195	195	194	197	0	0	198	0

DO (実施)	個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
			計画	予算	決算	
	①	避難行動要支援者の情報管理	195	195	194	避難行動要支援者名簿の更新を適切に実施できた。今後も継続して実施する必要がある。
	②		0	0	0	
	③		0	0	0	
	④		0	0	0	
	⑤		0	0	0	
	⑥		0	0	0	
	⑦		0	0	0	
	⑧		0	0	0	
	⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0		
事業費計			195	195	194	

平成30年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

避難行動要支援者名簿の定期的(年6回:5月、7月、9月、11月、1月、3月)な更新を行った。

平成30年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目				整理番号	
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	308020102
3	08	02	01	地域支え合い体制づくり事業	3	01	01	07	地域支え合い体制づくり事業	

CHECK (評価)	30年度活動指標(アウトプット)の達成状況				30年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	避難行動要支援者名簿の定期的(年6回:5月、7月、9月、11月、1月、3月)な更新を行った。				要配慮者を把握して避難行動要支援者名簿を作成し、災害に備えた。避難支援等関係者に対して名簿を適切に提供した。			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由			
	A:妥当である 自治体が関与すべき事業であり、総合計画における目標に合致する。		A:有効である 要配慮者を把握して避難行動要支援者名簿を作成するものである。また、類似の目的を持つ事業はない。		B:やや効率的である 住民基本台帳の情報及び関係各課の保有している情報を活用することは有効である。システムは保守が終了しているため更新する必要がある。			
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由			
	A:実現している 避難行動要支援者名簿を避難支援等関係者に提供することで情報の共有ができる。個別計画についても同様である。		B:実現に向けて取り組んでいる 災害時の地域の支え合いは、避難支援等関係者との調整が必要である。		B:実現に向けて取り組んでいる 災害時の地域の支え合いは、避難支援等関係者との調整が必要である。			
	所管による評価とその理由、課題・問題点							
	B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)		要配慮者を把握して避難行動要支援者名簿を定期的に更新することで、災害に備えることができた。今後は、名簿を提供する避難支援等関係者を増やし、避難支援等関係者との連携を進める必要がある。並行して名簿情報の管理を適切に実施する必要がある。現在使用しているシステムの保守が終了しており、業務に支障が出るが見込まれることから、更新する必要がある。					
	企画政策課での評価とその理由							
	B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)		避難行動要支援者名簿を定期的に更新し、関係者に提供しており、目標は達成していると認められる。避難支援等関係者の増や連携は支援に不可欠であるため調整を図るとともに、システムの保守についても関係課と協議していくものとする。					
政策調整会議での評価とその理由								
庁議における方針								

ACT (改善)	令和元年度活動指標(アウトプット)の設定				令和元年度成果指標(アウトカム)の設定			
	避難行動要支援者名簿の定期的(年6回:5月、7月、9月、11月、1月、3月)な更新を行う。				要配慮者を把握して避難行動要支援者名簿を作成し、災害に備える。			
令和元年度における具体的な目標				令和元年度における事務事業スケジュール				
要配慮者を把握して避難行動要支援者名簿を作成し、定期的に更新する。避難行動要支援者名簿を避難支援等関係者に適切に提供する。避難支援登録制度を活用して避難支援を必要とする者の個別計画を作成する。				避難行動要支援者名簿の定期的(年6回:5月、7月、9月、11月、1月、3月)な更新を行う。避難支援登録制度を活用して個別計画を随時作成する。				

平成30年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	08	02	02	防災行政無線施設事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	13	01	防災行政無線施設事業

実施計画整理番号	
308020201	
総合戦略整理番号	0

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	災害発生時における市民への迅速かつ確かな情報伝達手段として整備している防災行政無線屋外子局のデジタル化及び新設を行い、機能向上と難聴地区の解消を図る。	老朽化している防災行政無線屋外子局のデジタル化への更新、難聴地区解消のための新設を行う。
	平成30年度の具体的な目標	平成30年度スケジュール
	・新設及び既存屋外子局のデジタル化を合わせ19局の子局デジタル化を行う。	既存屋外子局のデジタル化工事及び新設子局 ・5月から6月 現地調査 ・10月 工事開始 ・翌年2月 工事完了

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	77,201	77,201	77,199	77,201	77,201	77,199	83,930	0	0	83,930	0	0	
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市債	千円	77,200	77,200	77,100	77,200	77,200	77,100	83,900	0	0	83,900	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	1	1	99	1	1	99	30	0	0	30	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	防災行政無線屋外子局のデジタル化及び新設	77,201	77,201	77,199	計画どおり19箇所のデジタル化工事を実施した。今後も計画的に工事を行い、全ての子局のデジタル化を行う。
②		0	0	0	
③		0	0	0	
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		77,201	77,201	77,199	

平成30年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
<ul style="list-style-type: none"> ・東部台及び中部の難聴地域に2局新設した。 ・既存のアナログ子局17局のデジタル化を行った。 ・防災行政無線子局数が156局となり、デジタル化率が61.0%から72.4%に上昇した。

DO (実施)

平成30年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	308020201
3	08	02	02	防災行政無線施設事業	2	01	13	01	防災行政無線施設事業	

30年度活動指標(アウトプット)の達成状況					30年度成果指標(アウトカム)の達成状況							
新設2局及びデジタル化への更新17局を実施し、計画どおり19局を達成した。					防災行政無線デジタル化局数の増加により、デジタル化率72.4%(156局中113局)に上昇した。 難聴地域の一部が解消された。							
妥当性の評価とその理由			有効性の評価とその理由			効率性の評価とその理由						
A:妥当である		市の防災行政無線整備は、市の責務である。			A:有効である		防災情報等の伝達に有効な施設であり、新設により難聴地域対策も行っている。			C:あまり効率的ではない		デジタル化による工事費がかかり、子局増設により維持管理費が増加するが、平常時には、あまり多用する施設ではない。
「情報の共有」の状況とその理由			「参加」の状況とその理由			「協働」の状況とその理由						
A:実現している		防災行政無線デジタル化工事に関係する自治会に現地調査前と工事前に自治会回覧を行っている。			A:実現している		住民からの要望による新設・スピーカー方向の調整等を行っている。			C:実現の余地がない		
所管による評価とその理由、課題・問題点												
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)		デジタル化を行うことで施設の老朽化改善、音質の向上が図られた。子局の新設により一部難聴地域の解消が進められた。 一方で、難聴地域の解消及び住宅の遮音性の向上による屋内への情報伝達方法が課題となっているため、防災行政無線を補完する安全安心メールなど他の伝達手段の併用が必要である。										
企画政策課での評価とその理由												
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)		計画に基づき適切に事業が執行されている。今後も計画通りデジタル化を進めるとともに、難聴地域の解消に努められたい。										
政策調整会議での評価とその理由												
庁議における方針												

令和元年度活動指標(アウトプット)の設定					令和元年度成果指標(アウトカム)の設定				
・既存屋外子局のデジタル化による更新17局 ・難聴地域への屋外子局新設2局					・デジタル化率の向上 ・難聴地域の解消				
令和元年度における具体的な目標					令和元年度における事務事業スケジュール				
・新設及び既存屋外子局のデジタル化を合わせ19局の子局デジタル化を行う。					既存屋外子局のデジタル化工事及び屋外子局新設 ・6月から10月 契約、機材の発注等 ・11月 工事開始 ・翌年2月 工事完了				

CHECK (評価)

ACT (改善)

平成30年度 事務事業整理シート

基本計画			
章	節	項	細
実施計画事業名			
3	08	02	02
災害非常用対策事業			

予算科目			
款	項	目	事
事業名			
2	01	13	03
災害非常用対策事業			

実施計画整理番号	
308020202	
総合戦略整理番号	0

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	市民の被災の予防や被害の軽減を図る。	地域防災訓練の実施、防災気象情報システムの運用、災害備蓄品の整備、各種計画の策定、改定などの災害対策事業を行い、被害の軽減を図る。
	平成30年度の具体的な目標	平成30年度スケジュール
	<ul style="list-style-type: none"> ・災害対策本部の機能を強化し災害対応力の向上を図る。 ・食料など災害用備蓄品の充実を図る。 ・住民参加型の地域防災訓練を実施し、地域住民の災害に対する意識や行動力の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害対策本部事務局の設置訓練(5月) ・気象情報システムの運用(常時) ・備蓄食料の更新・拡充(8月～11月) ・災害用備蓄品の購入(8月～12月) ・地域防災訓練(豊岡地区)の開催(9月) ・防災メール、自動電話サービスの加入促進(常時)

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	12,375	12,375	12,027	12,182	14,645	14,342	17,333	0	0	7,114	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	1,688	1,671	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	2,218	2,218	2,159	1,044	2,518	2,510	1,720	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	10,157	10,157	9,868	11,138	10,439	10,161	15,613	0	0	7,114	0

DO (実施)	個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
			計画	予算	決算	
	①	防災備蓄品の整備	6,621	6,441	6,249	防災備蓄倉庫に組立式トイレ等を計画どおり整備した。今後も継続して不足する物資を整備していく。消費期限を迎える備蓄食料等を更新した。今後も計画的に更新を行っていく。
	②	地域防災訓練の実施	120	120	92	地域防災訓練を豊岡地区で予定していたが、荒天により中止となった。
	③	もばら安全安心メール配信	397	382	322	台風等の災害情報の提供を行った。随時情報を提供していく。
	④	災害気象情報システムの運用	3,834	3,834	3,834	防災気象情報を取得し、災害等への対応を行った。今後もより精度の高い情報の取得に努める。
	⑤	地域防災計画の策定	0	0	0	
	⑥	避難所看板の改修	1,210	2,180	2,174	市内20カ所の指定緊急避難場所・指定避難所の標識看板を改修した。平成30年度及び令和元年度で全ての標識看板の改修を行う。
	⑦	避難所開設・運営アドバイザー業務	0	1,688	1,671	消防庁の委託金を活用し、自治会、自主防災組織等と連携し、指定避難所開設、運営準備事項の確立を検討した。
	⑧		0	0	0	
	⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0		
事業費計		12,182	14,645	14,342		

平成30年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

- ・組立式トイレ及び簡易トイレを避難所に整備
- ・消費期限を迎える備蓄食料等の更新
- ・防災気象情報システム委託
- ・防災メールの配信
- ・地域防災訓練の実施(荒天のため中止)
- ・避難所標識看板の改修
- ・指定避難所開設、運営準備事項の確立

平成30年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	308020202
3	08	02	02	災害非常用対策事業	2	01	13	03	災害非常用対策事業	

CHECK (評価)	30年度活動指標(アウトプット)の達成状況				30年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	<ul style="list-style-type: none"> ・備蓄食料の更新(13,560食) ・地域防災訓練の開催 ・自動電話サービスの加入促進について、広報等により周知 				<ul style="list-style-type: none"> ・食料備蓄率約65.3%(人口の15%が避難し、1日2食3日分で計算した場合) ・地域防災訓練は荒天のため中止 ・自動電話サービス加入者数90人 			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由			
	A:妥当である	防災体制の整備と備蓄品の整備は、市の責務である。	A:有効である	備蓄品の期限管理、本部体制の整備は災害対策上必要である。	B:やや効率的である	備蓄品等の備蓄率向上を図ると更新等の経費が増加するとともに、保管場所の問題も発生する。		
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由			
	A:実現している	ホームページでの掲載を行っている。	A:実現している	備蓄品の更新、備蓄品の増加については参加の余地はないが、防災訓練等については自治会等と協議して行っている。	A:実現している	地域防災訓練等において、自治会や自主防災組織など地域と連携して取り組んでいる。		
所管による評価とその理由、課題・問題点								
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	食料やトイレなどの備蓄品の整備及び更新について、計画どおり実施した。また、消防庁の委託金を活用し、自治会長や自主防災組織等の関係団体と連携して、指定避難所の開設・運営準備事項の確立について検討を行った。地域防災訓練については、豊岡地区の指定避難所2会場で行う予定であったが、荒天により中止となった。中止となった場合の予備日の設定が課題となった。							
企画政策課での評価とその理由								
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	備蓄品の整備・更新について計画どおり実施しており、当初の目的は達成している。今後も、市民の被災の予防や被害の軽減を図るため、計画どおり取り組むものとする。							
政策調整会議での評価とその理由								
庁議における方針								

A C T (改善)	令和元年度活動指標(アウトプット)の設定				令和元年度成果指標(アウトカム)の設定			
	<ul style="list-style-type: none"> ・防災マップ、洪水ハザードマップの統合 ・避難環境の整備 ・備蓄食料の更新 ・住民参加型地域防災訓練の実施(豊岡地区) ・もばら安全安心メール、自動電話サービスの加入促進 				<ul style="list-style-type: none"> ・防災マップ、洪水ハザードマップ 50,000部の作成 ・備蓄食料の備蓄率 ・地域防災訓練の開催及び参加者数 ・もばら安全安心メール、自動電話サービスの加入者数 			
令和元年度における具体的な目標				令和元年度における事務事業スケジュール				
<ul style="list-style-type: none"> ・災害対策本部の機能を強化し災害対応力の向上を図る。 ・防災マップ、洪水ハザードマップを統合し、住民に対してわかりやすい情報提供を行う。 ・看板改修や避難支援用具の作成により避難環境の整備を行う。 ・住民参加型の地域防災訓練を実施し、地域住民の災害に対する意識の高揚や行動力の向上を図る。 				<ul style="list-style-type: none"> ・防災マップ、洪水ハザードマップの統合(8月～3月) ・避難環境の整備(看板改修、避難支援用具作成)(8月～3月) ・備蓄食料の更新(8月～11月) ・地域防災訓練(豊岡地区)の開催(9月) ・防災メール、自動電話サービスの加入促進(常時) ・気象情報システムの運用(常時) 				

平成30年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	08	02	02	広域医療救護所整備事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	01	01	03	広域医療救護所整備助成事業

実施計画整理番号	
308020203	
総合戦略整理番号	0

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	長生管内7市町村合同の救護所を指定医療機関に設置し、広域災害発災時に被災者のトリアージと応急医療救護を行う。	広域医療救護所の設置にあたり、指定医療機関に対し、市町村の負担割合(均等割20%、人口割80%)に応じた整備費補助を実施する。
	平成30年度の具体的な目標	平成30年度スケジュール
公立長生病院に医薬品等を整備する。	年度内に医薬品を整備し、公立長生病院分の整備を完了する。	

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	15,757	15,757	15,757	12,669	12,669	8,048	0	0	0	24,509	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	15,757	15,757	15,757	12,669	12,669	8,048	0	0	0	24,509	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	広域医療救護所の整備費(公立長生病院分)	12,669	12,669	8,048	広域医療救護所(公立長生病院)の医薬品等を整備した
②		0	0	0	
③		0	0	0	
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		12,669	12,669	8,048	

平成30年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

長生管内7市町村合同で広域医療救護所(公立長生病院)の医薬品等を整備した。これにより広域医療救護所(公立長生病院)運営のための整備が完了した。
 ※資機材は29年度に整備済

DO (実施)

平成30年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目				整理番号	
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	308020203
3	08	02	02	広域医療救護所整備事業	4	01	01	03	広域医療救護所整備助成事業	

30年度活動指標(アウトプット)の達成状況	30年度成果指標(アウトカム)の達成状況
広域医療救護所(公立長生病院)開設のため整備を実施した。	公立長生病院に医薬品等を整備した。

妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
A:妥当である	災害対策基本法に基づく医療救護活動の必要が生じた場合、迅速かつ効果的な活動を行う。	A:有効である	傷病者が集中する大規模災害発災後の72時間を基本とし、応急措置を行う。	A:効率的である	被災市町村のうち災害救助法の適用となった市町村が医療救護所を設置する。

「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
B:実現に向けて取り組んでいる	医療救護所の整備完了後、広報・HP等により定期的に周知を行う。	A:実現している	長生管内7市町村協働により実施している。	A:実現している	長生管内7市町村で構成する災害医療分科会及び保健課長会議、並びに管理者会議にて協議している。

所管による評価とその理由、課題・問題点	
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	広域医療救護所開設のため、公立長生病院の整備を行った。 公立長生病院は2年度に分けて整備しており、平成29年度は資機材等を整備した。 なお、広域医療救護所は長生管内に3カ所の整備を計画しており、令和2年度は塩田記念病院、令和3年度は穴倉病院を整備予定となっている。

企画政策課での評価とその理由	
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	整備計画どおり公立長生病院に広域医療救護所の整備を実施し、当初の目的を達成したと認められる。引き続き、計画どおりの整備に努めるものとする。

政策調整会議での評価とその理由	

庁議における方針	

令和元年度活動指標(アウトプット)の設定	令和元年度成果指標(アウトカム)の設定
広域医療救護所開設のための協議を行う。	塩田記念病院との協議を行う。

令和元年度における具体的な目標	令和元年度における事務事業スケジュール
塩田記念病院との協定締結。	年度内に協議を完了し、翌年度に塩田記念病院と協定締結。

CHECK (評価)

ACT (改善)

平成30年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	09	01	01	防犯対策事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	12	02	防犯対策事業

実施計画整理番号	
309010101	
総合戦略整理番号	42103

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか) 市民が安心して暮らせるよう、各防犯団体と協力し、犯罪の防止と市民の防犯意識の高揚を図る。	活動内容(目的を達成するために何を行うか) 防犯パトロール活動の実施 防犯関係団体への活動支援
平成30年度の具体的な目標 ・年間を通じた防犯パトロール。 ・関係団体との連携と助成。 ・広報啓発活動。	平成30年度スケジュール ・年間を通じた防犯パトロール

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	4,179	4,179	3,890	4,578	4,764	4,633	2,728	0	0	2,898	0	0	
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県補助	千円	0	0	0	150	250	246	125	0	0	125	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	4,179	4,179	3,890	4,428	4,514	4,387	2,603	0	0	2,773	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	自主防犯団体活動支援	448	656	633	概ね達成できた。引き続き活動する。
②	防犯パトロール活動	2,141	2,119	2,011	業者委託及び市職員等による防犯パトロールを行った
③	防犯活動団体への補助金・負担金交付	1,989	1,989	1,989	2団体に対して助成金を交付した。引き続き活動する。
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		4,578	4,764	4,633	

平成30年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

- ・防犯パトロールの実施(安全安心パトロール業務委託、市防犯組合、自主防犯団体、市職員等)
- ・関係団体(茂原警察署、茂原警察署管内防犯組合連合会、茂原市防犯組合)との連携と助成
- ・「電話de詐欺」防止街頭啓発(モバリん参加)
- ・パトロール用資材・装備品の配布

平成30年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	309010101
3	09	01	01	防犯対策事業	2	01	12	02	防犯対策事業	

30年度活動指標(アウトプット)の達成状況 ・自主防犯組織の助成(傷害保険1,150人:138,000円)・防犯パトロール(安全安心パトロール:月10回1,664,820円、市防犯組合:10団体のべ129回、自主防犯団体35団体4,682回)・関係団体への助成(茂原警察署管内防犯組合連合会1,779,000円、茂原市防犯組合210,000円)・「電話de詐欺」防止街頭啓発(モバリん参加 アスモ等9回)・パトロール用資材・装備品の配布(のぼり旗、腕章等:491,998円:内県補助245,999円)	30年度成果指標(アウトカム)の達成状況 犯罪認知件数の減少 673件(前年比-130件)
---	--

妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
A:妥当である	安全安心なまちづくりの実現に向けた取り組みを行った。	A:有効である	犯罪認知件数が、減少傾向であるため。	A:効率的である	引き続き、犯罪を地域からなくす環境づくりを進める必要がある。

「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
A:実現している	関係団体との連携や助成、広報啓発活動を行った。	A:実現している	自主防犯組織への助成等、関係団体との連携を通じて取り組みを行った。	A:実現している	関係団体との連携を通じて、取り組みを行った。

所管による評価とその理由、課題・問題点	
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	犯罪認知件数が減少し、十分な成果を挙げることができた。課題として、市内各地域の犯罪をなくすため、地域住民が一体となった防犯体制の整備や環境づくりを、より一層すすめる必要がある。

企画政策課での評価とその理由	
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	各種防犯対策の取り組みにより、犯罪認知件数が前年比△130件となったことから、十分な成果を挙げたものと認められる。今後も防犯ボックスや各防犯団体との連携を密にし、犯罪の防止と市民の防犯意識の高揚に努めるものとする。

政策調整会議での評価とその理由	

庁議における方針	

令和元年度活動指標(アウトプット)の設定	令和元年度成果指標(アウトカム)の設定
<ul style="list-style-type: none"> 防犯関係団体との連携と助成 防犯パトロール(市防犯組合、自主防犯団体、防犯ボックス勤務員、市職員等) 「電話de詐欺」防止街頭啓発(モバリん)等の広報啓発活動 茂原警察署管内暴力団排除対策協議会開催 	<ul style="list-style-type: none"> 犯罪認知件数の減少

令和元年度における具体的な目標	令和元年度における事務事業スケジュール
<ul style="list-style-type: none"> 年間を通じた防犯パトロール。 関係団体との連携と助成。 広報啓発活動。 	<ul style="list-style-type: none"> 年間を通じた防犯パトロール

CHECK (評価)

ACT (改善)

平成30年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	09	01	01	防犯ボックス事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	12	05	防犯ボックス事業

実施計画整理番号	
309010102	
総合戦略整理番号	42103

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	<p>生活の安全を確保し、住民が安心して暮らせる社会をめざし、防犯ボックスを核に警察官OBを非常勤職員として採用し巡回パトロールや、犯罪多発地域の重点警戒、市民への啓発活動等を実施することで、自分たちの地域は自分たちで守るという地域住民の防犯に対する意識の醸成を図る。</p>	<p>平成27年中の人口千人当たりの刑法犯認知件数について、本市は千葉県内ワースト3位(12.6件/千人)となっていることから、地域の自主的な防犯力向上のために日常的に助言を行える体制の確保や防犯関係団体と連携したパトロールを実施する。</p>
	平成30年度の具体的な目標	平成30年度スケジュール
<ul style="list-style-type: none"> 防犯ボックス事業の調整・協議 年間を通じた合同パトロールの実施、見守り、街頭監視 広報啓発活動 防犯関係団体との連携 	<ul style="list-style-type: none"> 年間を通じた合同パトロールの実施、見守り、街頭監視 広報啓発活動 防犯関係団体との連携 	

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	2,720	2,720	2,540	9,631	10,639	9,668	9,799	0	0	9,769	0	0	
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県補助	千円	2,489	2,489	2,406	6,000	6,000	6,000	6,000	0	0	6,000	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	231	231	134	3,631	4,639	3,668	3,799	0	0	3,769	0	0

DO (実施)	個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
			計画	予算	決算	
	①	防犯ボックス整備	0	0	0	
	②	防犯ボックス運営	9,533	10,567	9,645	県補助金を活用し、適正な運営を行った
	③	防犯啓発活動	98	72	23	防犯組合との合同パトロールや、自主防犯団体に指導助言を行った。「防犯ボックスだより」を作成し市民に周知した。
	④		0	0	0	
	⑤		0	0	0	
	⑥		0	0	0	
	⑦		0	0	0	
	⑧		0	0	0	
	⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0		
事業費計			9,631	10,639	9,668	

平成30年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

362日開所(1/1~1/3は閉鎖)
 防犯組合との合同パトロール、自主防犯団体に対する指導助言、街頭監視活動、見守り活動、警察署への引継、教育機関への広報活動を実施

平成30年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	309010102
3	09	01	01	防犯ボックス事業	2	01	12	05	防犯ボックス事業	

CHECK (評価)	30年度活動指標(アウトプット)の達成状況					30年度成果指標(アウトカム)の達成状況				
	362日開所(1/1~1/3は閉鎖) 防犯組合との合同パトロール(42回)、自主防犯団体に対する指導助言(31回)、街頭監視活動(942回)、見守り活動(768回)、警察署への引継(12回)、教育機関への広報活動(608回)					平成30年5月及び7月に不審者情報を入手した結果、2件の前兆事案の解決に貢献 平成31年3月に行方不明者情報を入手した結果、発見し保護を行った。				
	妥当性の評価とその理由			有効性の評価とその理由			効率性の評価とその理由			
	A:妥当である 年間を通じて勤務員による市内全域のパトロール、街頭監視活動や見守り活動、並びに合同パトロールや指導助言を行った。			A:有効である 入手した情報を基に、前兆事案の解決及び行方不明者保護を行った。			A:効率的である 引き続き、市内全域のパトロール、街頭監視活動や見守り活動、並びに合同パトロールや指導助言を行う必要がある。			
	「情報の共有」の状況とその理由			「参加」の状況とその理由			「協働」の状況とその理由			
	A:実現している 「防犯ボックスだより」を作成し、自治会回覧にて市民に犯罪情報等を周知した。			A:実現している 防犯組合との合同パトロールや、自主防犯団体に対する指導助言をした。			A:実現している 防犯組合との合同パトロールや、自主防犯団体に対する指導助言をした。			
	所管による評価とその理由、課題・問題点									
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)		2件の前兆事案の解決に貢献並びに行方不明者の発見、保護を行うなど、十分な成果を挙げることができたと捉えている。 課題として、県からの補助金が5年間しかないので、今後の継続を検討する必要がある。								
企画政策課での評価とその理由										
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)		パトロールや啓発活動等により安全安心な地域づくりに成果があったものと認められる。今後も、防犯組合との合同パトロール、自主防犯団体に対する指導助言を通じ、地域の自主的な防犯力向上に努めるものとする。								
政策調整会議での評価とその理由										
庁議における方針										

ACT (改善)	令和元年度活動指標(アウトプット)の設定					令和元年度成果指標(アウトカム)の設定				
	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯ボックス事業(県補助)の調整・協議 ・防犯関係団体との連携した合同パトロールの実施、見守り、街頭監視 ・防犯関係団体に対する指導・助言 					<ul style="list-style-type: none"> ・犯罪認知件数の減少 				
令和元年度における具体的な目標					令和元年度における事務事業スケジュール					
<ul style="list-style-type: none"> ・県との防犯ボックス事業の調整・協議 ・年間を通じた合同パトロールの実施、見守り、街頭監視 ・広報啓発活動 ・防犯関係団体との連携 					<ul style="list-style-type: none"> ・県との防犯ボックス事業の調整・協議 ・年間を通じた合同パトロールの実施、見守り、街頭監視 ・広報啓発活動 ・防犯関係団体との連携 					

平成30年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	09	01	02	防犯設備設置・管理費

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	12	01	防犯設備設置・管理費

実施計画整理番号	
309010201	
総合戦略整理番号	42103

事務事業の概要		
P L A N (計 画)	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか) 市民が安全で安心して暮らせるよう市内に防犯設備の設置及び維持管理を行う。	活動内容(目的を達成するために何を行うか) 防犯灯の設置、維持管理 防犯カメラの設置、維持管理 自治会所有の防犯灯への維持管理補助 青パトドライブレコーダーの設置、維持管理
	平成30年度の具体的な目標 ・犯罪認知件数の減少 ・防犯灯、防犯カメラの維持管理・設置・移管 ・自治会への防犯灯維持管理費の助成	平成30年度スケジュール ・防犯灯の維持管理・設置・移管 ・防犯カメラの設置 ・自治会への防犯灯維持管理費の助成

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	29,958	34,197	33,056	29,735	36,879	36,096	34,607	0	0	32,275	0	0
財 源 内 訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	174	1,679	1,679	0	0	2,000	800	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	2,323	0	0	0	0
	一般財源	千円	29,784	32,518	31,377	29,735	36,879	34,096	31,484	0	0	32,275	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	防犯灯の設置・維持管理	27,629	29,314	28,994	39灯の新規設置を行い、既存箇所の継続管理を行った。
②	防犯カメラの設置・維持管理	229	5,722	5,349	10台を新規設置した。適切な維持管理に努める。
③	自治会所有の防犯灯への維持管理補助	1,877	1,840	1,753	71自治会に、適切に補助金を交付した。引き続き補助する。
④	青パトドライブレコーダーの設置、維持管理	0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		29,735	36,879	36,096	

平成30年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
・防犯灯の設置、移管、維持管理 ・自治会所有防犯灯への維持管理の助成 ・防犯カメラの維持管理・新設

PLAN (計画)

DO (実施)

平成30年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	309010201
3	09	01	02	防犯設備設置・管理費	2	01	12	01	防犯設備設置・管理費	

CHECK (評価)	30年度活動指標(アウトプット)の達成状況				30年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	・防犯灯の維持管理数(8,198灯)・防犯灯の設置数(39灯)、自治会から市への移管数:92灯、事業者:33灯)・自治会への防犯灯維持管理費の助成(71自治会・1,150灯・1,753,362円)・防犯カメラの維持管理数(維持管理44台)				犯罪認知件数の減少 673件(前年比-130件)			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由			
	A:妥当である	防犯灯の維持・設置・維持管理費の助成、防犯カメラの設置等、安全安心なまちづくりの実現に向けた取り組みを行った。	A:有効である	犯罪認知件数の減少等、取り組みの成果を得た。	A:効率的である	引き続き犯罪を地域からなくす環境づくりを進める必要がある。		
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由			
	A:実現している	維持管理費の助成、防犯カメラの設置については、自治会及び防犯組合に通知した。	A:実現している	防犯灯の設置や自治会の防犯灯管理費の助成等の取り組みを行った。	A:実現している	防犯灯の設置や自治会への助成等を通じて取り組みを行った。		
	所管による評価とその理由、課題・問題点							
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	犯罪認知件数が減少したため、十分な成果を挙げることができたと捉えている。課題として、現状の防犯設備を維持管理しながら、より市全域で充実した防犯設備の適正な配置を検討する必要がある。							
企画政策課での評価とその理由								
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	各種防犯設備の設置により犯罪認知件数の減少に寄与したものと認められる。今後も防犯設備の計画的な設置・管理に努めるとともに、今後の設置・管理方針について早急に検討するものとする。							
政策調整会議での評価とその理由								
庁議における方針								

A C T (改善)	令和元年度活動指標(アウトプット)の設定				令和元年度成果指標(アウトカム)の設定			
	・防犯灯の維持管理・設置・移管 ・自治会への防犯灯維持管理費の助成 ・防犯カメラの維持管理				・犯罪認知件数の減少			
令和元年度における具体的な目標				令和元年度における事務事業スケジュール				
・犯罪認知件数の減少 ・防犯灯、防犯カメラの維持管理・設置・移管 ・自治会への防犯灯維持管理費の助成				・防犯灯の維持管理・設置・移管 ・防犯カメラの設置 ・自治会への防犯灯維持管理費の助成				

平成30年度 事務事業整理シート

基本計画			
章	節	項	細
実施計画事業名			
3	10	01	01
交通安全対策事業			

予算科目			
款	項	目	事
事業名			
2	01	11	01
交通安全対策事業			

実施計画整理番号	
310010101	
総合戦略整理番号	42104

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	警察や交通安全活動団体と連携し、市民に対して交通安全に関する知識の普及と交通安全思想の高揚を図る。	交通安全運動啓発 各世代における交通安全教室等の安全教育の実施 交通安全推進市民大会の開催
	平成30年度の具体的な目標	平成30年度スケジュール
交通事故発生件数の減少	<ul style="list-style-type: none"> ・四季の交通安全運動、シートベルト・チャイルドシート着用等の街頭啓発、広報活動。 ・交通安全関係団体(茂原警察署、茂原交通安全協会茂原支部、茂原市交通安全母の会、茂原地区安全運転管理者協議会、茂原地域交通安全活動推進委員協議会)との連携と助成。 ・交通安全フェア☆まぼら(茂原市交通安全推進市民大会)、交通安全ポスター展の開催 	

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	970	970	916	970	961	913	961	0	0	926	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	970	970	916	970	961	913	961	0	0	926	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	交通安全啓発活動	415	405	358	四季の交通安全運動を始めとする広報活動を実施。引き続き活動を推進する。
②	交通安全活動団体等への補助金・負担金交付	555	556	555	各団体等へ補助金を交付し、当初の予定通り達成できた。引き続き支援する。
③		0	0	0	
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		970	961	913	

平成30年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
<ul style="list-style-type: none"> ・四季の交通安全運動、シートベルト・チャイルドシート着用等の街頭啓発、広報活動。 ・交通安全関係団体(茂原警察署、茂原交通安全協会茂原支部、茂原市交通安全母の会、茂原地区安全運転管理者協議会、茂原地域交通安全活動推進委員協議会)との連携と助成。 ・交通安全フェア☆まぼら(茂原市交通安全推進市民大会)、交通安全ポスター展の開催。

DO (実施)

平成30年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	310010101
3	10	01	01	交通安全対策事業	2	01	11	01	交通安全対策事業	

CHECK (評価)	30年度活動指標(アウトプット)の達成状況				30年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	<ul style="list-style-type: none"> ・四季の交通安全運動等の街頭啓発(6回) ・関係団体への助成(554千円) 				交通事故発生件数の減少 (市内325件(前年比-15件)、郡内467件(前年比-35件)) 交通安全フェア★もばら(交通安全推進市民大会)の参加者数 (1,000人)			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由			
	A:妥当である	交通安全運動等の街頭啓発を行い、交通安全対策を推進した。	A:有効である	交通事故発生件数が減少した。	A:効率的である	効率的であるが、高齢者や自転車に関する交通安全対策の推進が必要である。		
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由			
	A:実現している	街頭啓発、広報誌、市ウェブサイト、交通安全推進市民大会の開催などを行った。	A:実現している	街頭啓発、交通安全推進市民大会の開催や関係団体との連携を通じて取り組みを行った。	A:実現している	関係団体との連携を通じて取り組みを行った。		
	所管による評価とその理由、課題・問題点							
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	交通事故発生件数は減少傾向にあり、本事業によるものと考え、十分な成果を挙げたものと考えている。引き続き、交通安全対策の推進に努める						
	企画政策課での評価とその理由							
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	事業実施により、交通事故減少の一定の要因になったものと考えられる。今後も関係団体と連携し、交通安全に関する知識の普及や交通安全思想の高揚を図るとともに、高齢者や自転車に関する交通安全対策にも重点的に取り組むことにより、交通事故減少に努めるものとする。						
政策調整会議での評価とその理由								
庁議における方針								

ACT (改善)	令和元年度活動指標(アウトプット)の設定				令和元年度成果指標(アウトカム)の設定			
	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の交通安全対策と自転車の安全利用対策 ・四季の交通安全運動等の広報啓発活動・関係団体との連携と助成 				<ul style="list-style-type: none"> ・署管内と市内の交通事故発生件数・死者数の減少 ・高齢者に関する交通事故発生件数の減少 ・自転車に関する交通事故発生件数の減少 ・交通安全推進市民大会の参加者数の増加 			
令和元年度における具体的な目標				令和元年度における事務事業スケジュール				
交通事故発生件数の減少				<ul style="list-style-type: none"> ・四季の交通安全運動、シートベルト・チャイルドシート着用等の街頭啓発、広報活動。 ・交通安全関係団体(茂原警察署、茂原交通安全協会茂原支部、茂原市交通安全母の会、茂原地区安全運転管理者協議会、茂原地域交通安全活動推進委員協議会)との連携と助成。 ・交通安全フェア☆もばら(茂原市交通安全推進市民大会)、交通安全ポスター展の開催 				

平成30年度 事務事業整理シート

基本計画			
章	節	項	細
実施計画事業名			
3	10	01	02
交通安全施設等整備事業			

予算科目			
款	項	目	事
事業名			
7	01	04	02
交通安全施設整備事業			

実施計画整理番号	
310010201	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
歩行者の安全を確保するために、通学路を中心とした歩道の整備等を推進する。	歩道の工事等を実施する。
平成30年度の具体的な目標	平成30年度スケジュール
2級18号線・・・県道茂原環状線交差部までの工事を実施する。 2級21号線・・・調査や用地取得を推進し、並行して工事を実施する。 1級9号線・・・用地交渉、県との調整を行う。 自歩道・・・工事設計、発注を行い本年度完成を目指す。 3級2076号線・・・本納駅東地区まちづくり事業から交安事業に切替え、歩道整備を進めていく。	2級18号線・・・上半期中に工事発注する。 2級21号線・・・用地・地質について調査を行い、用地の取得を行う。 1級9号線・・・県主体で整備を実施する事から、工事負担金等の調整や協定の締結を適宜行う。 自歩道・・・線越分の工事の完了見通しがついた段階で、残工事の発注を行う。 3級2076号線・・・線形の見直し完了した時点で用地交渉を行って行く。

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	146,077	134,232	84,743	59,000	152,202	118,948	93,000	0	0	147,000	0	0	
財源内訳	国補助	千円	41,123	41,123	14,905	19,200	44,841	29,792	43,751	0	0	71,100	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	93,100	93,100	10,900	17,800	82,100	24,300	43,300	0	0	68,300	0	0
	その他	千円	0	0	0	20,000	0	59,682	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	11,854	9	58,938	2,000	25,261	5,174	5,949	0	0	7,600	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	市道1級5号線ほか1路線の歩道整備	20,000	1,220	1,220	予定箇所の整備は完了した。H30年度完成。
②	市道2級18号線の歩道整備	0	22,959	22,814	予定箇所の整備は完了した。R1完成予定。
③	市道2級21号線の歩道整備	35,000	67,680	36,453	一部工事費を繰越明許した。今後も継続して事業を進める。
④	市道1級17号線の歩道整備	4,000	0	0	次年度以降整備を進める。
⑤	自転車歩行者道整備	0	57,975	57,975	予定箇所の整備は完了した。H30年度完成。
⑥	市道1級9号線の人溜り整備	0	1,882	0	県工事負担金を契約繰越した。
⑦	市道2級34号線交通安全施設等整備	0	486	486	予定箇所の整備は完了した。H30年度完成。
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		59,000	152,202	118,948	

平成30年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

1-5他1路線・・・電柱移転完了。H30年度完成。
 2-18・・・工事延長L=100m R1年度完成予定。
 2-21・・・工事延長L=75.7m(完了) L=173.9m(契約繰越) 一部工事費を繰越明許した。
 自歩道・・・工事延長L=443.78m H30年度完成。
 1-9・・・交差点改良工事(契約繰越)。
 2-34・・・防犯灯設置N=5基 H30年度完成。

PLAN (計画)

DO (実施)

平成30年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	310010201
3	10	01	02	交通安全施設等整備事業	7	01	04	02	交通安全施設整備事業	

CHECK (評価)	30年度活動指標(アウトプット)の達成状況				30年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	歩道整備延長 1,017mの歩道整備を行った。				整備率 59.4km/124Km 47.9%			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由			
	A:妥当である 茂原市が関与すべき事業であり、道路利用者が安全・安心に利用できるような整備を行っている。また、市民からの要望も多い。		A:有効である 整備済箇所は歩道として供用出来るため、通行者の安全が図れた。		B:やや効率的である		整備延長が長く、単年度での完了は難しいため、現状維持が効果的である。	
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由			
	B:実現に向けて取り組んでいる 自治会回覧を行っている。		B:実現に向けて取り組んでいる 地元自治会や関係者の意見(要望)に応えている。		B:実現に向けて取り組んでいる		地元自治会や関係者の意見(要望)に応えている。	
	所管による評価とその理由、課題・問題点							
	B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)		自転車・歩行者の安全確保に関して概ね十分な成果をあげている。1-9他2路線について繰越した。未整備路線が多数あるので、事業拡大の必要がある。					
	企画政策課での評価とその理由							
	B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)		整備の実施により、歩行者の安全確保に成果があったものと認められる。引き続き、計画的な整備に努めるものとする。					
政策調整会議での評価とその理由								
庁議における方針								

ACT (改善)	令和元年度活動指標(アウトプット)の設定				令和元年度成果指標(アウトカム)の設定			
	歩道整備延長				整備率			
令和元年度における具体的な目標				令和元年度における事務事業スケジュール				
2-21...前年度に引続き工事を実施する。 1-9...県との調整を行い早期完成を目指す。 2-18...前年度に引続き工事を実施する。(R1完成予定)				2-21...上半期に工事を発注する。 1-9...県主体で工事を実施しているため、地元調整をする。 2-18...上半期に県と交差点協議を行い、下半期に工事を発注する。				

平成30年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	10	01	02	交通安全施設管理費

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	01	04	01	交通安全施設管理費

実施計画整理番号	
310010202	
総合戦略整理番号	0

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	交通事故防止のため、区画線やカーブミラー等の交通安全施設の整備補修を行う	通学路を中心とした学童の安全と、歩行者や自動車が安全に通行できるように区画線の設置や引き直しを実施する
	平成30年度の具体的な目標	平成30年度スケジュール
	交通安全施設の整備補修を行う。	地元要望箇所の整備を中心に、限られた予算で安全施設の整備を行う。

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	3,066	17,380	17,034	3,066	17,079	16,677	12,382	0	0	6,880	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	3,066	17,380	17,034	3,066	17,079	16,677	12,382	0	0	6,880	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	区画線の補修	1,786	14,927	14,531	当初予定していた補修箇所については、概ね実施出来た。引続き補修を実施していく。
②	交通安全施設の整備	1,280	2,152	2,146	当初予定していた補修箇所については、概ね実施出来た。継続的に交通安全施設の整備・管理を実施していく。
③		0	0	0	
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		3,066	17,079	16,677	

平成30年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
<ul style="list-style-type: none"> 交通安全施設の補修9箇所 区画線設置(補修)延長 L=15,000m

DO (実施)

平成30年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	10	01	02	交通安全施設管理費

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	01	04	01	交通安全施設管理費

整理番号
310010202

CHECK (評価)	30年度活動指標(アウトプット)の達成状況		30年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全施設の補修9箇所 区画線設置(補修)延長 L=15,000m 		<ul style="list-style-type: none"> 交通安全施設の補修完了9箇所 区画線設置(補修)延長 L=15,000m 			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
	A:妥当である	市が設置している交通安全施設については市が主体的に整備補修する必要がある。	A:有効である	交通安全施設の整備補修により交通事故防止に寄与した。	B:やや効率的である	交通安全施設の補修が一部にとどまったため。
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
	C:実現の余地がない	交通安全施設の整備工事であり、取り組む余地がない。	C:実現の余地がない	交通安全施設の整備工事であり、取り組む余地がない。	C:実現の余地がない	交通安全施設の整備工事であり、取り組む余地がない。
	所管による評価とその理由、課題・問題点					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	当該年度の執行は概ね予定通りであったが、交通安全施設の整備補修箇所が多数残っている。				
	企画政策課での評価とその理由					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	当初の予定どおり事業が実施されており、一定の成果が挙げられたものと認められる。引き続き、交通事故防止のため、計画的に整備を行うものとする。				
政策調整会議での評価とその理由						
(斜線表示)						
庁議における方針						
(斜線表示)						

ACT (改善)	令和元年度活動指標(アウトプット)の設定		令和元年度成果指標(アウトカム)の設定	
	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全施設の補修箇所数 区画線設置(補修)延長 L=6,000m 		<ul style="list-style-type: none"> 交通安全施設の補修が完了した箇所数 区画線設置(補修)延長 	
令和元年度における具体的な目標		令和元年度における事務事業スケジュール		
交通安全施設の整備補修を行う。		地元要望箇所の整備を中心に、限られた予算で安全施設の整備を行う。		

平成30年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	10	01	05	放置自転車等対策事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	11	02	放置自転車等対策事業

実施計画整理番号	
310010501	
総合戦略整理番号	0

P L A N (計 画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	放置自転車等による歩行者等の通行障害等を防止し、良好な都市景観と交通環境の確保を図る。	放置自転車防止啓発活動 駅前放置自転車等の整理
	平成30年度の具体的な目標	平成30年度スケジュール
	・放置自転車の減少	・定期的な放置自転車の撤去 ・年間を通じた広報啓発活動 ・市内高等学校での啓発活動(放置自転車クリーンキャンペーン)

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	851	851	720	863	843	756	880	0	0	894	0	0	
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	851	851	720	863	843	756	220	0	0	220	0	0
	一般財源	千円	0	0	0	0	0	0	660	0	0	674	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	放置自転車等防止啓発	163	135	106	概ね達成できた。引き続き実施する。
②	駅前放置自転車等整理業務委託	630	650	650	概ね達成できた。引き続き実施する。
③	放置自転車等対策委員への報酬、団体への負担金交付	70	50	0	放置自転車の状況により、開催する。
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		863	843	756	

平成30年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
<ul style="list-style-type: none"> ・放置自転車クリーンキャンペーン等の広報啓発活動 ・駅前放置自転車整理委託(公益社団法人茂原市シルバー人材センター)

D
O
(
実
施
)

平成30年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	10	01	05	放置自転車等対策事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	11	02	放置自転車等対策事業

整理番号
310010501

CHECK (評価)	30年度活動指標(アウトプット)の達成状況		30年度成果指標(アウトカム)の達成状況		
	<ul style="list-style-type: none"> ・放置自転車の撤去数(186台) ・啓発活動数(55回) 		放置自転車の減少(前年度比-35台)		
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由
	A:妥当である	「自転車等放置防止に関する条例」に基づいた事業の実施のため。	A:有効である	駅前環境の美観の維持に寄与している。	A:効率的である 放置自転車の状況により、毎年見直している。
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由
	A:実現している	撤去した自転車の所有者に対して引き取り通知を送付した。また、学生であれば通う学校に通知した。広報10月15日号で駅前放置自転車クリーンキャンペーンの情報提供をした。	その他	放置自転車等対策委員会を開催していない。	その他 放置自転車等対策委員会を開催していない。
	所管による評価とその理由、課題・問題点				
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	十分な成果を挙げた。引き続き、放置自転車の減少に努める。			
	企画政策課での評価とその理由				
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	放置自転車の撤去数及び放置自転車数が減少しており、一定の成果があったと認められる。引き続き、啓発活動の実施により放置自転車の減少に努めるものとする。			
政策調整会議での評価とその理由					
庁議における方針					

A C T (改善)	令和元年度活動指標(アウトプット)の設定		令和元年度成果指標(アウトカム)の設定	
	<ul style="list-style-type: none"> ・放置自転車の撤去 ・啓発活動 		<ul style="list-style-type: none"> ・放置自転車の減少 	
令和元年度における具体的な目標		令和元年度における事務事業スケジュール		
<ul style="list-style-type: none"> ・放置自転車の減少 		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な放置自転車の撤去 ・年間を通じた広報啓発活動 ・市内高等学校での啓発活動(放置自転車クリーンキャンペーン) 		

平成30年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	10	01	05	自転車駐車場管理運営費

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	11	03	自転車駐車場管理運営費

実施計画整理番号	
310010502	
総合戦略整理番号	0

P L A N (計 画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	駅周辺の良好な交通環境整備のため、自転車駐車場を管理運営する。	自転車駐車場の管理運営
	平成30年度の具体的な目標	平成30年度スケジュール
	<ul style="list-style-type: none"> 自転車駐車場利用者の現状維持 放置自転車の減少 	<ul style="list-style-type: none"> 自転車駐車場業務委託(4月) 年間を通じての施設管理

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	39,367	39,367	39,305	39,367	39,022	38,993	39,503	0	0	39,709	0	0	
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	39,367	39,367	37,077	39,367	39,022	36,592	38,157	0	0	39,302	0	0
	一般財源	千円	0	0	2,228	0	0	2,401	1,346	0	0	407	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	自転車駐車場施設管理	1,145	1,104	1,077	指定管理者による適切な業務が行われた。引き続き業務の指導を行う。
②	自転車駐車場業務委託	34,360	34,056	34,055	指定管理者による適切な業務が行われた。引き続き業務の指導を行う。
③	自転車駐車場用地借上げ	3,862	3,862	3,861	引き続き用地借上げを行い管理する。
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		39,367	39,022	38,993	

平成30年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者決定(公益社団法人茂原市シルバー人材センター 平成30年度から平成32年度) 自転車駐車場の維持管理 自転車駐車場用地の借上げ(東日本旅客鉄道株式会社)

D
O
(
実
施
)

平成30年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	10	01	05	自転車駐車場管理運営費

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	11	03	自転車駐車場管理運営費

整理番号
310010502

30年度活動指標(アウトプット)の達成状況 ・利用者にとって利便性の高い施設の維持管理(場内照明灯修繕) ・自転車駐車場(駐車可能台数:3,606台)の整備 ・自転車駐車場利用者数 (延べ人数 定期:17,886件、一時:68,497件、還付:1件) ・放置自転車の撤去数(186台)	30年度成果指標(アウトカム)の達成状況 放置自転車の数(前年度比-35台)
--	--

妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
A:妥当である	「茂原市自転車駐車場の設置及び管理に関する条例」に基づいた事業の取り組みを行った。	A:有効である	放置自転車の防止と安全な交通環境の確保、駅前環境の美観の維持に寄与している。	A:効率的である	運営経費を維持したまま、利用者のニーズにあった運営を行った。

「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
A:実現している	広報や市ウェブサイト等で広報した。	A:実現している	指定管理者が利用者の意見書を場内で集め、市と協議し運営に反映させた。	A:実現している	指定管理者と連携しながら、適切な管理に努めた。

CHECK (評価)	所管による評価とその理由、課題・問題点 A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上) 86,000人を超える利用者があり、十分な成果を挙げた。課題として、利用者が年々減少傾向であり、委託料や施設維持管理費用が増加傾向にあることから、今後の施設運営について検討する必要がある。
---------------	--

B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	企画政策課での評価とその理由 利用者の減少が続いており、利用者数維持のための方策が必要である。引き続き、意見書の運営への反映に努めるなど、利用者の利便性向上に配慮した管理を実施するとともに、今後の運営について検討するものとする。
-------------------------	--

政策調整会議での評価とその理由	(This section is currently blank in the image)
-----------------	--

庁議における方針	(This section is currently blank in the image)
----------	--

A C T (改善)	令和元年度活動指標(アウトプット)の設定 ・自転車駐車場の駐車可能台数 ・施設利用の促進・啓発活動数 ・自転車駐車場利用者数 ・放置自転車の撤去台数
---------------------	---

令和元年度における具体的な目標 ・自転車駐車場利用者数の現状維持以上 ・放置自転車の減少	令和元年度における事務事業スケジュール ・自転車駐車場業務委託(4月:年度協定) ・年間を通じての施設管理
--	--

平成30年度 事務事業整理シート

基本計画			
章	節	項	細
実施計画事業名			
3	11	01	01
消費生活相談事業			

予算科目			
款	項	目	事
事業名			
2	01	14	02
消費生活相談事業			

実施計画整理番号	
311010101	
総合戦略整理番号	0

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	消費者の保護を図るため、消費生活相談体制の充実に努める。 また、トラブルを未然に防ぐため、市民を対象とした消費生活講座や中学生を対象とした出前授業を行い、消費生活に関する知識の普及や啓発に努める。	消費生活相談の実施 消費生活支援講座・消費生活講座の実施 出前授業の実施
	平成30年度の具体的な目標	平成30年度スケジュール
・消費生活相談員、担当職員の研修参加により資質向上を図る ・見守りネットワーク構築のため庁内の連携を図る	・通年 消費生活相談の実施、相談員の研修参加、啓発活動 ・H30.9～11月 中学1年生に対する出前授業 ・H30.10 消費生活支援講座 ・H30.10～11月 消費生活講座(全3回)	

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	2,810	2,810	2,796	2,755	2,769	2,296	2,765	0	0	2,718	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	2,245	2,245	2,239	2,362	2,319	1,777	1,000	0	0	500	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	565	565	557	393	450	519	1,765	0	0	2,218	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	消費生活相談の実施	2,115	2,100	1,632	消費生活相談を平日毎日実施した。引き続き相談体制の充実に努める。
②	かしこい消費者づくりの推進	506	537	523	各種講座等を開催し、消費者意識の高揚に努めた。今後も消費者教育の推進に努める。
③	消費生活センターの運営	134	132	141	消費生活センターを適正に運営した。引き続き適正な運営に努める。
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		2,755	2,769	2,296	

平成30年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
・消費生活相談を平日毎日実施 ・消費生活講座、消費生活支援講座の開催 ・NPO主催の子どもあそびひろばにて消費生活コーナーを開催 ・相談員の研修のため弁護士による研修会の開催及び国・県等への研修に積極的に参加し、資質向上に努めた。 ・市内全中学1年生を対象に啓発用冊子を活用し、消費生活に関する出前授業を実施。

DO (実施)

平成30年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	311010101
3	11	01	01	消費生活相談事業	2	01	14	02	消費生活相談事業	

C H E C K (評 価)	30年度活動指標(アウトプット)の達成状況					30年度成果指標(アウトカム)の達成状況									
	・消費生活支援講座(1回60千円)、消費生活講座(3回9千円)の実施 ・市内7中学校への出前授業の実施					・消費生活支援講座(1回・50人、消費生活講座(3回・延べ55人)の実施 ・講座アンケートによる満足度は講演会・消費生活講座共に90%以上 ・広報、センターだよりによりセンターの周知を図った。									
	妥当性の評価とその理由			有効性の評価とその理由			効率性の評価とその理由								
	A:妥当である	消費生活相談は地方自治体が行うべき行政サービスである。			A:有効である	市民の消費者トラブル防止・解決に有効である。			A:効率的である	専門の相談員を常時2人体制で配置したいが、欠員が出ている。今後相談員の待遇改善の必要がある。					
	「情報の共有」の状況とその理由					「参加」の状況とその理由					「協働」の状況とその理由				
	A:実現している	広報等により消費生活センターの周知及び事例紹介・情報提供などを定期的実施している。			B:実現に向けて取り組んでいる	推進員等を通じて提言を受けける環境を整備していく。			A:実現している	NPOと協働してイベントを実施している。センターの運営についても協働の可能性を検討していく。					
	所管による評価とその理由、課題・問題点														
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	消費生活相談事業の実施により、消費者被害の未然防止・被害回復が図られた。しかし、相談体制の充実だけでは消費者被害はなくならないため、消費者被害の未然防止に向けた消費者教育と啓発活動を通して市民の消費生活の安定と向上に努める。また、消費生活上特に配慮を要する消費者の見守り等必要な取組を検討する。														
企画政策課での評価とその理由															
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	出前授業等の様々な啓発活動を行っており、受講者の満足度も良好であることから、十分な成果を挙げたものと認められる。相談体制の維持が急務であるため、相談員確保に努めるものとする。														
政策調整会議での評価とその理由															
庁議における方針															

A C T (改 善)	令和元年度活動指標(アウトプット)の設定					令和元年度成果指標(アウトカム)の設定				
	・消費生活相談の実施(受付件数) ・各種講座の実施 ・消費生活センターの周知					・講座の実施回数及び参加人数 ・講座アンケートで講座内容の満足度90%以上 ・消費生活センターの周知啓発を年2回以上				
令和元年度における具体的な目標					令和元年度における事務事業スケジュール					
通年 消費生活相談の実施、相談員の研修参加、啓発活動 R1.9~11月 中学1年生に対する出前授業 R1.9 消費生活支援講座 R1.9~11 消費生活講座(全3回)					・消費生活相談員、担当職員の研修参加により資質向上を図る。 ・見守りネットワーク構築のため庁内の連携を図る。					